

令和2年度

福島県産業廃棄物排出処理状況確認調査業務報告書

(令和元年度実績)

令和3年3月

福 島 県

目次

第1章 調査の概要	1
1.1 調査の目的	1
1.2 調査の内容	1
1.3 各報告書の報告状況	2
1.4 各種報告書のデータ整備及び産業廃棄物の排出・処理状況の整理	3
1.5 調査に関する基本的な事項	5
第2章 調査結果の概略	8
2.1 令和元年度の産業廃棄物の排出状況	8
2.2 令和元年度の産業廃棄物の処理状況	11
2.3 廃棄物処理計画で定めた目標値に対する達成状況	14
2.4 地区別の産業廃棄物の処理状況	15
2.5 福島県廃棄物処理計画進行管理システムの更新結果	16
第3章 産業廃棄物処理業者の実績	19
3.1 県内の産業廃棄物処理業者の処分実績の概要	19
3.2 産業廃棄物処理業者の中間処理	23
3.3 県内の産業廃棄物処理業者の最終処分	29
第4章 産業廃棄物多量排出事業者の排出・処理実績	35
4.1 多量排出事業者等における報告状況	35
4.2 産業廃棄物多量排出事業者等の属性	37
第5章 産業廃棄物の処理状況	40
5.1 再生利用の状況	40
5.2 最終処分の状況	43
第6章 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の解析	46
6.1 データ整備等の内容	46
6.2 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の報告状況	47
6.3 産業廃棄物管理票交付等状況報告対象者リストの作成	49
参考データ	51
統計表1 業種別・種類別の排出量	51
統計表2 排出量及び処理量（種類別）	52
統計表3 排出量及び処理量（業種別）	54
統計表4 排出量及び処理量等の経年推移	56

第1章 調査の概要

1.1 調査の目的

本調査は、令和元年度における県内の産業廃棄物の排出・処理等の実態を調査し、産業廃棄物の排出抑制及び適正処理の推進に資することを目的に実施した。

1.2 調査の内容

1 報告書データの電子化及びデータの整理

産業廃棄物処理業者及び排出事業者から提出された産業廃棄物の排出・処理状況に関する実績報告書（福島市、郡山市、いわき市分を含む。）の電子化を行った。

電子化されたデータの内容のチェック、各様式間における整合性のチェックを行い、記入不備等のデータの整備を行った。

2 産業廃棄物の物流情報の整理、分析

1.2.1 のデータを基に、福島県の産業廃棄物の排出及び処理情報（県外からの移入、県外への移出も含む）の整理、分析を行った。

3 産業廃棄物の排出・処理量の推計及び廃棄物処理計画の進行管理状況の分析

1.2.1 の結果等から、産業廃棄物の排出・処理量の推計を行うとともに、推計結果と福島県廃棄物処理計画（平成27年3月）で定めた目標値の達成状況やその分析を行い、計画の進捗状況のとりまとめを行った。

4 最終処分場残余年数の推定

1.2.1 のデータ及び過去の同データを基に、県内の最終処分場残余年数を推計した。

5 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の電子化及び集計解析

排出事業者から提出された産業廃棄物管理票交付状況報告書及び電子マニフェスト登録等状況報告書を基に、排出事業者の台帳の作成及び廃棄物の排出・処理状況の集計・解析を行った。

6 資源化状況の解析

1.2.1 のデータを基に、廃棄物種類ごとに資源化用途及び利用先業種(素材産業等)を整理し、資源化推進施策となる基礎情報を作成した。

7 「福島県廃棄物処理計画進行管理システム」の更新等

1.2.1 のデータを基に、現行の「福島県廃棄物処理計画進行管理システム」のデータを更新するとともに、1.2.2、1.2.3 の分析等がシステム上で行えるよう分析ツールを更新した。

1.3 各報告書の報告状況

産業廃棄物処理業者及び排出事業者から提出された産業廃棄物の排出・処理状況に関する報告書（福島市、郡山市、いわき市分を含む。）の報告状況は、表 1-1 のとおりである。

報告件数は、処分業者及び収集運搬業が 2,970 件、排出事業者（多量（指定）排出事業者・施設設置事業者）が 378 件、鉱業事業者が 12 件となっており、報告率は全体で 73%となっている。

表 1-1 報告者属性別・所管別の報告数、報告状況

	処分業者及び 収集運搬業者		多量排出事業者等 ・施設設置者		鉱業事業者		計	
	調査 対象数	報告数	調査対 象数	報告数	調査対 象数	報告数	調査対 象数	報告数
福島県	3,753	2,783	359	240	12	8	4,124	3,031
福島市	11	9	44	30	0	0	55	39
郡山市	50	39	58	44	0	0	108	83
いわき市	196	139	86	64	4	4	286	207
計	4,010	2,970	547	378	16	12	4,573	3,360
(報告率)	(74%)		(69%)		(75%)		(73%)	

1.4 各種報告書のデータ整備及び産業廃棄物の排出・処理状況の整理

1 産業廃棄物処理業者の報告書の整理

(1) 物流情報の整理

提出された産業廃棄物処理業者の実績報告書の情報について、廃棄物の種類、量、委託者（排出事業者）及び所在地、処分業者名及び処分方法、処分先所在地等を整理した。

更に、排出事業者及び所在地と処分業者及び所在地の関係から、表 1-2 に示す物流コードに基づきとりまとめた。

なお、委託者の排出事業者と業者（中間処理残さ物を委託）の識別は、「委託者の名称と所在地」と「県内の中間処理業者と処理施設所在地」のマッチングを行った。

表 1-2 物流フローの整理内容

情報ソース	流れ	処分 区分	物流コード(委託者)			備考
			事業者	業者	自社	
処分業者の 報告	県内→県内	中間	A	ア	サ	
	県内→県内	最終	B	イ	シ	
	県外→県内	中間	C	ウ		
	県外→県内	最終	D	エ		
収集運搬業 者の報告	県内→県外	中間	E	カ	ソ	
	県内→県外	最終	F	キ	タ	
	県内→県内	中間	Q	R		A、アとの重複情報のため集計しない
	県内→県内	最終	S	T		B、イとの重複情報のため集計しない
	県外→県内	中間	U	V		C、ウとの重複情報のため集計しない
	県外→県内	最終	W	X		D、エとの重複情報のため集計しない

(2) 排出事業者の産業分類（業種）の整備

(1)の物流情報で整理した事業者（産業廃棄物排出事業者）及び自社分については、既存の各種事業所名簿等を用いて、業種コードを整備した。

2 排出事業者の報告書の整備

廃棄物の処理及び清掃に関する法律（以下「廃棄物処理法」という。）に基づく多量排出事業者の実績報告及び福島県産業廃棄物等の処理の適正化に関する条例（以下、「適正化条例」という。）に基づく指定排出事業者の実績報告の情報は、事業者の業種、廃棄物の種類、量、処分方法等を整備した。

3 産業廃棄物の排出量・処理量の推計

産業廃棄物の発生量及び処理量は、排出事業者の自己処理量と委託処理量で構成される。

(1) 自己処理量

自己処理量は、自己で完結（委託されない）する中間処理及び売却、自社利用、自社埋立である。これらの処理を行う事業者の大部分は、廃棄物処理法に基づく多量排出事業者及び適正化条例に基づく指定排出事業者であると仮定すると、これらの事業者の実績データで推計することができる。

(2) 委託処理量

産業廃棄物処理業者の実績から把握した。排出事業者から排出された産業廃棄物のうち、県内での処理については、県内の中間処理業者及び最終処分業者の実績データを使用し、県外での処理については、収集運搬業者の実績データを使用した。

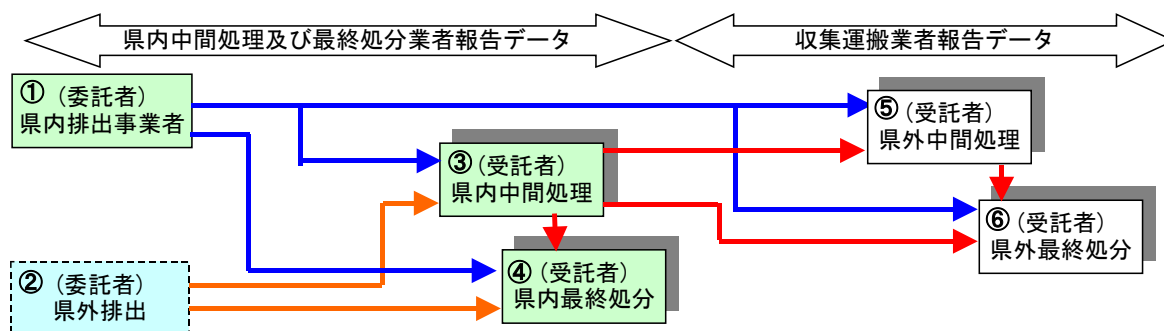


図 1-1 処分実績及び収集運搬実績データからの処理フロー作成概念図

また、上記の(1)と(2)の情報から十分に把握できない、鉱業からの汚泥（砂利等の採取事業所内で脱水処理され現場内再利用等が行われているもの等）についても調査を行い、情報を補完した。推計方法の概略は、図 1-2 のとおりである。

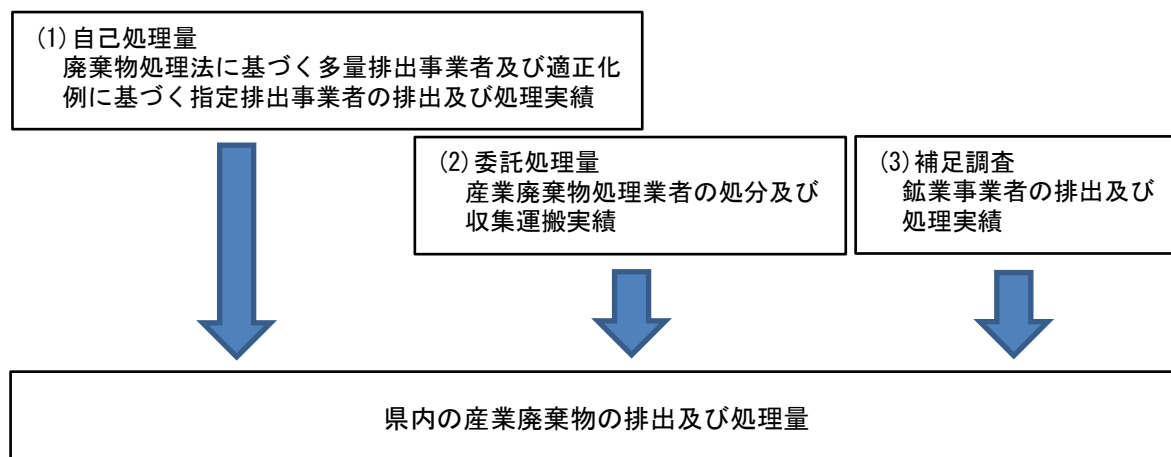


図 1-2 産業廃棄物の排出・処理量の推計方法の概略

なお、実績報告書の提出がない産業廃棄物処理業者及び排出事業者のデータについては、前年度実績や産業廃棄物管理票交付等状況報告書のデータを用いて推計した。

1.5 調査に関する基本的な事項

1 地区区分

本調査における本県の地区区分は、表 1-3 に示すとおりとした。

表 1-3 地区区分

	地区名	構成市町村
T1	県北地区	二本松市、伊達市、本宮市 伊達郡（桑折町、国見町、川俣町） 安達郡（大玉村）
T2	県中地区	須賀川市、田村市 岩瀬郡（鏡石町、天栄村） 石川郡（石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町） 田村郡（三春町、小野町）
T3	県南地区	白河市 西白河郡（西郷村、泉崎村、中島村、矢吹町） 東白川郡（棚倉町、矢祭町、塙町、鮫川村）
T4	会津地区	会津若松市、喜多方市 耶麻郡（猪苗代町、北塩原村、西会津町、磐梯町） 河沼郡（会津坂下町、湯川村、柳津町） 大沼郡（会津美里町、三島町、金山町、昭和村）
T5	南会津地区	南会津郡（南会津町、下郷町、檜枝岐村、只見町）
T6	相双地区	相馬市、南相馬市 双葉郡（広野町、檜葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村） 相馬郡（新地町、飯館村）
TA	郡山市	郡山市
TB	いわき市	いわき市
TC	福島市	福島市

※福島市は、平成 30 年 4 月 1 日に中核市に移行したため、地区区分も県北地区から外れて単独で表示することとした。

2 調査対象産業廃棄物

調査対象廃棄物は、廃棄物処理法及び同法施行令に定める次の産業廃棄物とした。

①燃え殻、②汚泥、③廃油、④廃酸、⑤廃アルカリ、⑥廃プラスチック類、⑦紙くず、⑧木くず、⑨繊維くず、⑩動植物性残さ、⑪動物系固形不要物、⑫ゴムくず、⑬金属くず、⑭ガラスくず、コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。）及び陶磁器くず〔注、本報告書における図表では「ガラス陶磁器くず」と略した〕⑮鉱さい、⑯がれき類、⑰ばいじん、⑱動物のふん尿、⑲動物の死体、⑳産業廃棄物を処分するために処理したもの〔注、本報告書における図表では「13号廃棄物」と略した〕
※上記以外の種類に分類できない廃棄物は、「その他産業廃棄物」とした。

また、次に示す有償物、廃棄物等については下記の取り扱いとした。

ア 法令上廃棄物とならない有償物も今後の社会状況の変化によっては産業廃棄物となる可能性があるため、今回の調査対象に含めた。（例 金属スクラップ及び火力発電所から発生する脱硫石膏等）

有償物量は、多量排出事業者等から提出される実績報告書の有償物量の欄を計上している。

イ 紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、動物系固形不要物、動物のふん尿及び動物の死体については、廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第2条で、産業廃棄物となる業種が指定されている。このため、指定された業種以外の事業所から発生した紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、動物系固形不要物、動物のふん尿及び動物の死体については、原則として事業系一般廃棄物とし、産業廃棄物の集計から除外した。ただし、貨物の流通のために使用したパレットに係る木くずは、産業廃棄物として取り扱われるため、パレットに係る木くずはすべての業種で産業廃棄物として集計した。

ウ 酸性又はアルカリ性を呈する廃水を公共用水域へ放流することを目的として事業所で中和処理を行っている場合には、当該廃水を除外し、中和処理後に生じた汚泥（沈でん物）を発生量とした。

エ 廃棄物を自己焼却処理する場合は、燃え殻等の発生量ではなく焼却処理前の廃棄物を発生量とした。

3 産業廃棄物の種類の区分

中間処理により廃棄物の種類が変化する場合、本調査では変化後の種類で記載した場合には、（処分時点）又は（再生利用時点）と記載した。

例 木くず→（焼却）→燃え殻（中間処理前の種類及び中間処理方法から推定）
（最終処分量の解析の際に、燃え殻（処分時点）と記載。）

4 調査対象業種

調査対象業種は、日本標準産業分類（平成 25 年 10 月改訂、総務省）に記載されている区分を基本にして、表 1-4 のとおりとした。なお、本報告書では、業種の名称を一部省略して用いた。

表 1-4 調査対象業種

日本標準産業分類		略称
A	農業，林業 農業 林業	農業・林業 農業 林業
B	漁業	漁業
C	鉱業，採石業，砂利採取業	鉱業
D	建設業	建設業
E	製造業 食料品製造業 飲料・たばこ・飼料製造業 繊維工業 木材・木製品製造業 家具・装備品製造業 パルプ・紙・紙加工品製造業 印刷・同関連業 化学工業 石油製品・石炭製品製造業 プラスチック製品製造業 ゴム製品製造業 なめし革・同製品・毛皮製造業 窯業・土石製品製造業 鉄鋼業 非鉄金属製造業 金属製品製造業 はん用機械器具製造業 生産用機械器具製造業 業務用機械器具製造業 電子部品・デバイス・電子回路製造業 電気機械器具製造業 情報通信機械器具製造業 輸送用機械器具製造業 その他の製造業	製造業 食料品 飲料・飼料 繊維 木材 家具 パルプ・紙 印刷 化学 石油・石炭 プラスチック ゴム 皮革 窯業・土石 鉄鋼 非鉄金属 金属 はん用機器 生産用機器 業務用機器 電子部品 電気機器 情報通信機器 輸送機器 その他製造業
F	電気・ガス・熱供給・水道業 電気業 ガス業 熱供給業 上水道業 工業用水道業 下水道業	電気・ガス・水道業 電気業 ガス業 熱供給業 上水道業 工業用水道業 下水道業
G	情報通信業	情報通信業
H	運輸業，郵便業	運輸・郵便業
I	卸売業，小売業	卸・小売業
J	金融業，保険業	金融・保険業
K	不動産業，物品賃貸業	不動産業・物品賃貸業
L	学術研究，専門・技術サービス業	専門サービス業
M	宿泊業，飲食サービス業	宿泊業・飲食サービス業
N	生活関連サービス業，娯楽業	生活サービス業
O	教育，学習支援業	教育・学習支援業
P	医療，福祉	医療・福祉業
Q	複合サービス業	複合サービス業
R	サービス業	サービス業
S	公務	公務

第2章 調査結果の概略

2.1 令和元年度の産業廃棄物の排出状況

産業廃棄物の業種別、種類別の排出量は、図 2-1～図 2-2、表 2-1 のとおりである。

令和元年度における産業廃棄物の排出量 7,722 千トンを経業種別にみると、電気・ガス・水道業が 2,678 千トンで最も多く、次いで、製造業が 2,539 千トン、建設業が 2,195 千トンとなっている。

排出量を種類別にみると、汚泥が 3,133 千トンで最も多く、次いで、がれき類が 1,694 千トン、ばいじんが 1,592 千トンとなっている。

各産業廃棄物の主な排出元となる業種は、汚泥は製造業及び電気・ガス・水道業、がれき類は建設業、ばいじんは電気・ガス・水道業となっている。

平成 23 年度の排出量は、東日本大震災の影響により、復旧・復興工事に伴うがれき類の排出量が増加したものの、石炭火力発電所の稼働停止によりばいじんの排出量が減少したこと、下水道業からの汚泥の排出量が減少したことにより、平成 22 年度と比較して大幅な減少となった。

平成 24 年度～平成 27 年度においては、石炭火力発電所の稼働再開によりばいじんの排出量が増加し、また、復旧・復興工事により建設業の排出量が増加したため、震災発生前と同程度まで排出量が増加した。

平成 25 年度以降の排出量は減少傾向にある。東日本大震災の復旧・復興工事等から生じたがれき類の排出量の減少などが影響している。

令和元年度における排出量の減少は、概ね経済指標等の推移と一致している(9 ページ下段参照)。製造業の排出量の減少は、企業活動の停滞のためと推測される。建設業の排出量の増加は、令和元年台風 19 号により県内の広範囲で大きな浸水被害が発生したため、その復旧工事が影響していると推測される。電気・ガス・水道業の排出量は前年度と同程度となっており、発電電力量の推移と似た傾向となっている。

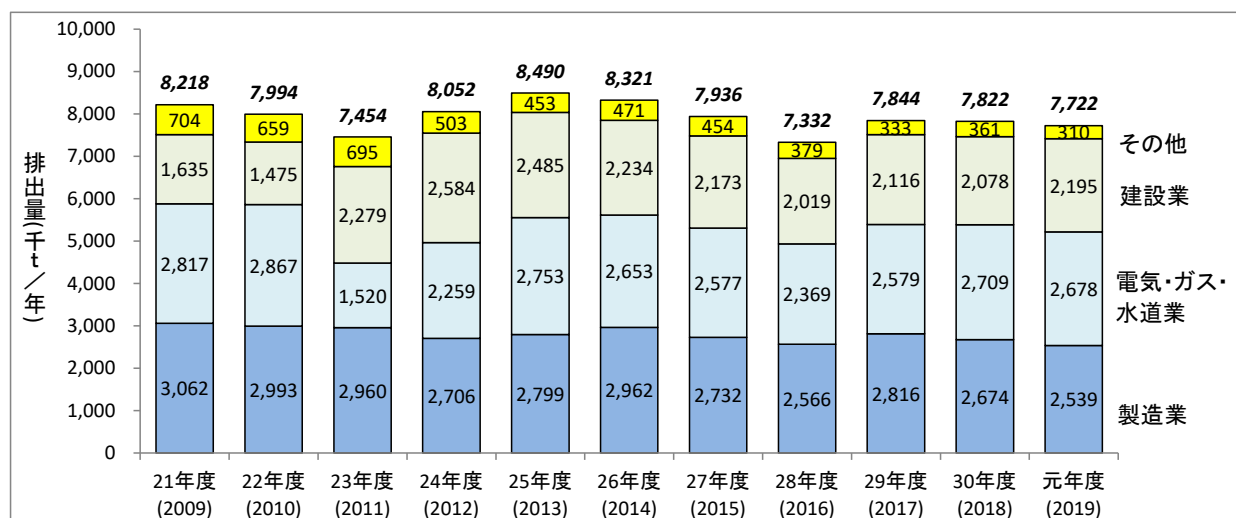


図 2-1 産業廃棄物の業種別排出量の推移

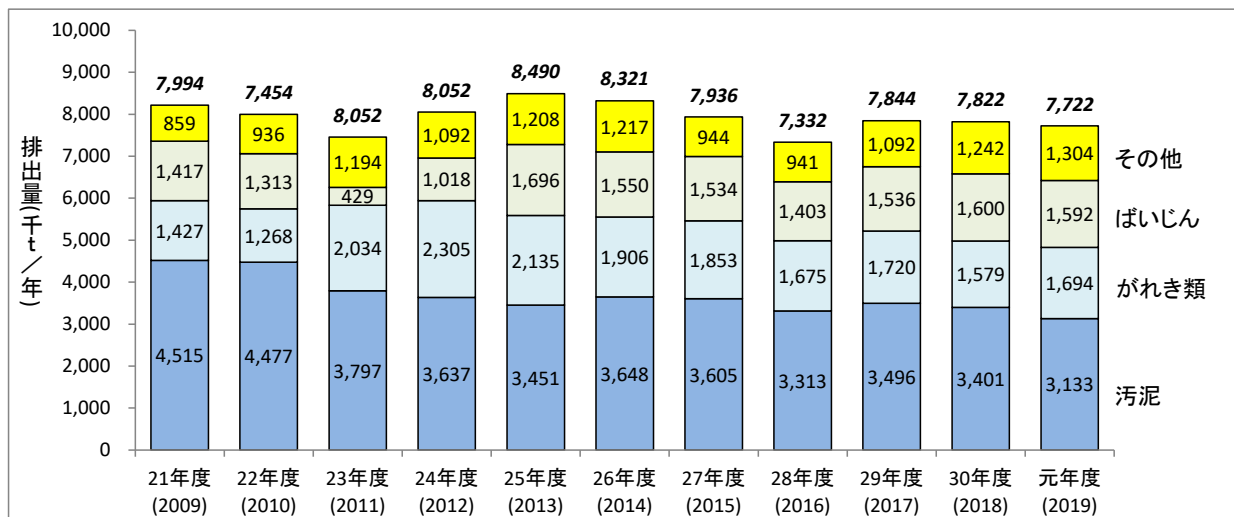


図 2-2 産業廃棄物の種類別排出量の推移

表 2-1 産業廃棄物の業種別・種類別の排出量

(単位: 千t/年)

業種 種類	合計	鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・水道業	運輸・郵便業	卸・小売業	医療・福祉業	サービス業	その他の業種
合計	7,722 (100%)	138 (2%)	2,195 (28%)	2,539 (33%)	2,678 (35%)	8 (0%)	12 (0%)	8 (0%)	115 (1%)	28 (0%)
燃え殻	249 (3%)		2	6	239	0			2	0
汚泥	3,133 (41%)	138	98	2,019	837	1	1	1	25	13
廃油	44 (1%)		2	31	0	1	0	0	10	0
廃酸	18 (0%)		0	14	0	0	0	0	4	0
廃アルカリ	100 (1%)		1	93	0	0	0	0	6	0
廃プラスチック類	179 (2%)	0	49	87	0	1	5	1	32	3
紙くず	9 (0%)		5	3						
木くず	266 (3%)		262	4		0	0	0	1	0
繊維くず	1 (0%)		1							
動植物性残さ	17 (0%)			17						
動物系固形不要物										
ゴムくず	0 (0%)			0	0				0	
金属くず	40 (1%)	0	15	8	0	0	4	0	11	2
ガラス陶磁器くず	188 (2%)	0	46	113	7	4	1	1	10	5
鉱さい	144 (2%)		0	120	22	0	0		2	0
がれき類	1,694 (22%)		1,694	0						
ばいじん	1,592 (21%)		0	18	1,572				2	0
動物のふん尿	5 (0%)									5
その他	44 (1%)	0	20	7	1	0	0	4	10	1

*表中の空欄は該当値がないもの、「0」表示は500 t/年未満のもの。以下の図表において同じ。

【参考：福島県の経済指標等】

業種	経済指標等	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	増減 (R1-H30)	出典等
製造業	製造工業生産指数 (H27=100)	98.9	99.4	94.5	-4.9	福島県統計課 「福島県鉱工業指数年報」
電気業	発電電力量 (GWh)	49,125	47,766	47,372	-394	資源エネルギー庁 「電力調査統計」
建設業	除却建築物の床面積 (万 m ²)	60.4	45.2	48.3	+3.1	国土交通省「建築物減失統計調査」、上段は木造、下段は非木造
		21.6	21.0	19.5	-1.5	

産業廃棄物の地区別排出量は、図 2-3、表 2-2 のとおりである。

排出量を地区別にみると、いわき市が 3,038 千トンで最も多く、次いで、相双地区が 2,134 千トン、以下、郡山市が 659 千トン、県北地区が 462 千トン、会津地区が 453 千トン、福島市が 355 千トン、県中地区が 276 千トン、県南地区が 265 千トン等となっている。

いわき市は、製紙業や化学工業の大規模工場があり、汚泥の排出量が多くなっている。また、人口が多いために、下水道汚泥や建築・道路工事に伴うがれき類等の日常生活に密着した産業廃棄物も多くなっている。

相双地区は、石炭火力発電所から発生するばいじんの排出量が多くなっている。

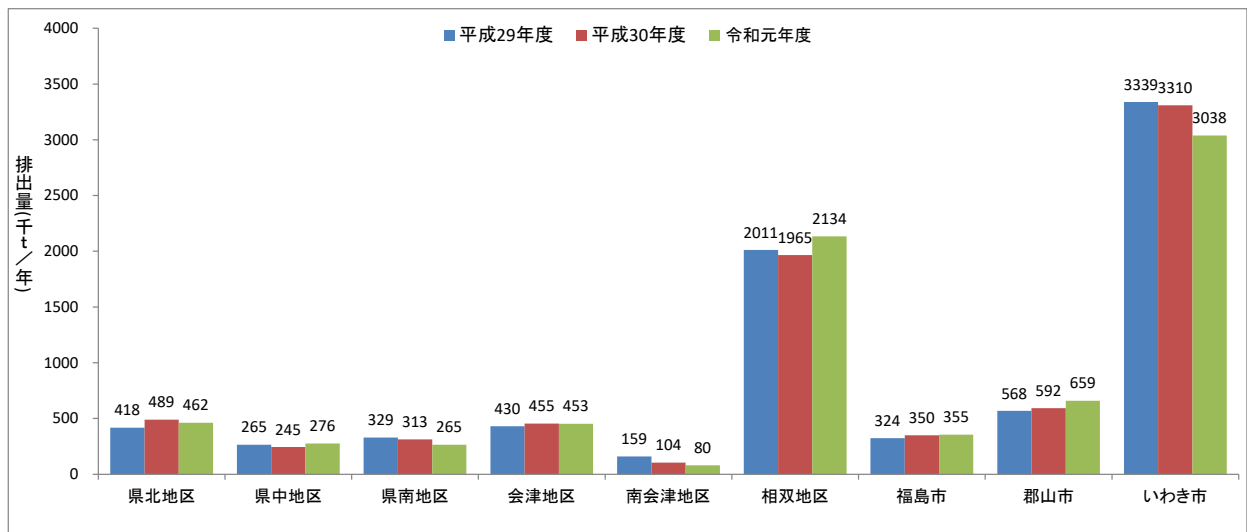


図 2-3 産業廃棄物の地区別排出量の推移

表 2-2 産業廃棄物の種類別・地区別排出量

		(単位：千t/年)									
種類	地区	計	県北地区	県中地区	県南地区	会津地区	南会津地区	相双地区	福島市	郡山市	いわき市
合計		7,722 (100.0%)	462 (6.0%)	276 (3.6%)	265 (3.4%)	453 (5.9%)	80 (1.0%)	2,134 (27.6%)	355 (4.6%)	659 (8.5%)	3,038 (39.3%)
燃え殻		249	0	0	2	4	0	218	0	1	23
汚泥		3,133	168	23	34	146	1	251	62	299	2,148
廃油		44	3	3	4	4	0	14	2	4	11
廃酸		18	1	1	1	4	0	2	0	3	7
廃アルカリ		100	4	1	4	30	0	13	20	7	21
廃プラスチック類		179	22	11	25	7	1	21	13	20	60
紙くず		9	0	1	1	0	0	1	2	1	2
木くず		266	18	40	33	36	10	41	19	26	43
繊維くず		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動植物性残さ		17	2	4	4	0		0	2	5	0
動物系固形不要物											
ゴムくず		0		0				0	0		
金属くず		40	7	3	2	1	1	3	3	13	6
ガラス陶磁器くず		188	13	15	8	24	2	34	20	21	50
鉱さい		144	52	14	27	5	0	5	17	2	23
がれき類		1,694	164	158	117	179	65	259	190	249	312
ばいじん		1,592	0	0	3	4	0	1,266		0	318
動物のふん尿		5	5								
動物の死体		1									0
その他産業廃棄物		43	3	2	1	6	0	4	6	7	14

2.2 令和元年度の産業廃棄物の処理状況

令和元年度に発生した産業廃棄物の処理フローは、**図 2-4** のとおりである。

排出量 7,722 千トンのうち、98%に当たる 7,566 千トン（中間処理量）が排出事業者または産業廃棄物処理業者による脱水、焼却等の中間処理がされており、この結果、3,029 千トン（減量化量）が減量されている。

中間処理後の再生利用量（4,147 千トン）と排出事業者等での直接再生利用量（38 千トン）を合わせた再生利用量は、排出量の 54%に当たる 4,185 千トンとなっている。

直接最終処分量と中間処理後の最終処分量を合わせた最終処分量は、排出量の 7%に当たる 509 千トンとなっている。

平成 30 年度と比較して、再生利用量は 211 千トンの増加（再生利用率 3 ポイント増加）、最終処分量は 63 千トンの減少（最終処分率は同）となっている。

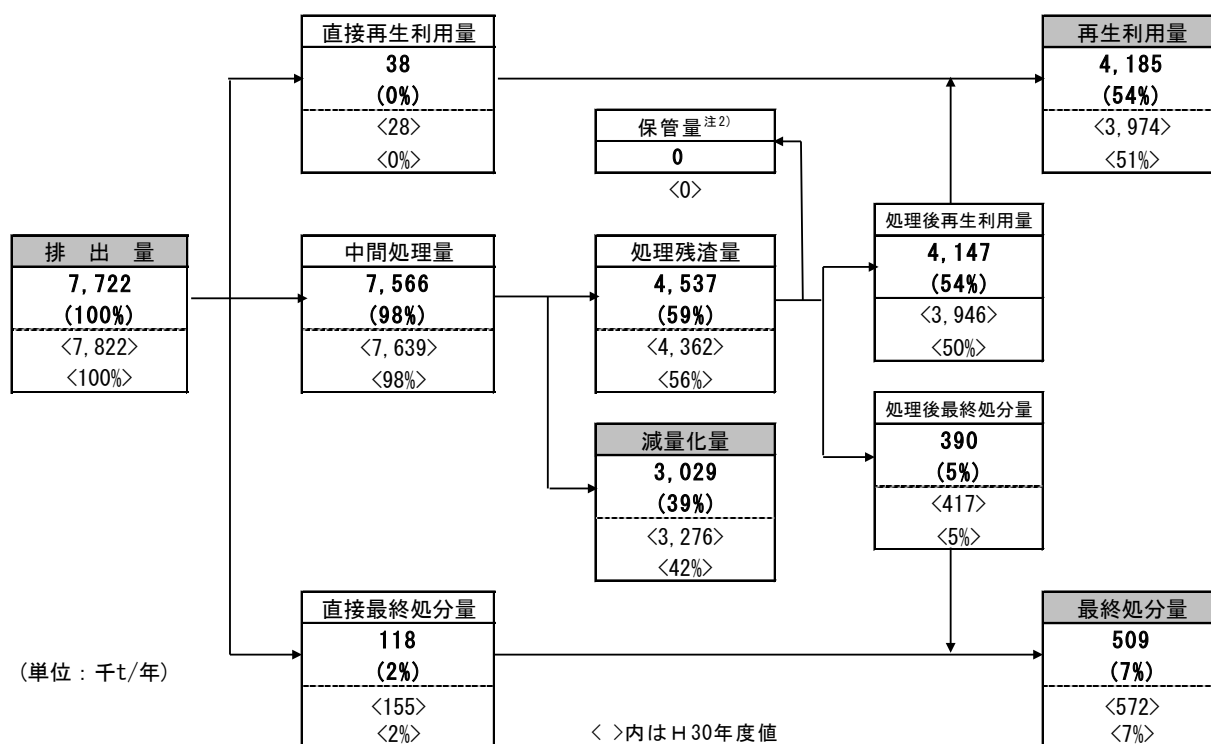


図 2-4 産業廃棄物の処理フロー

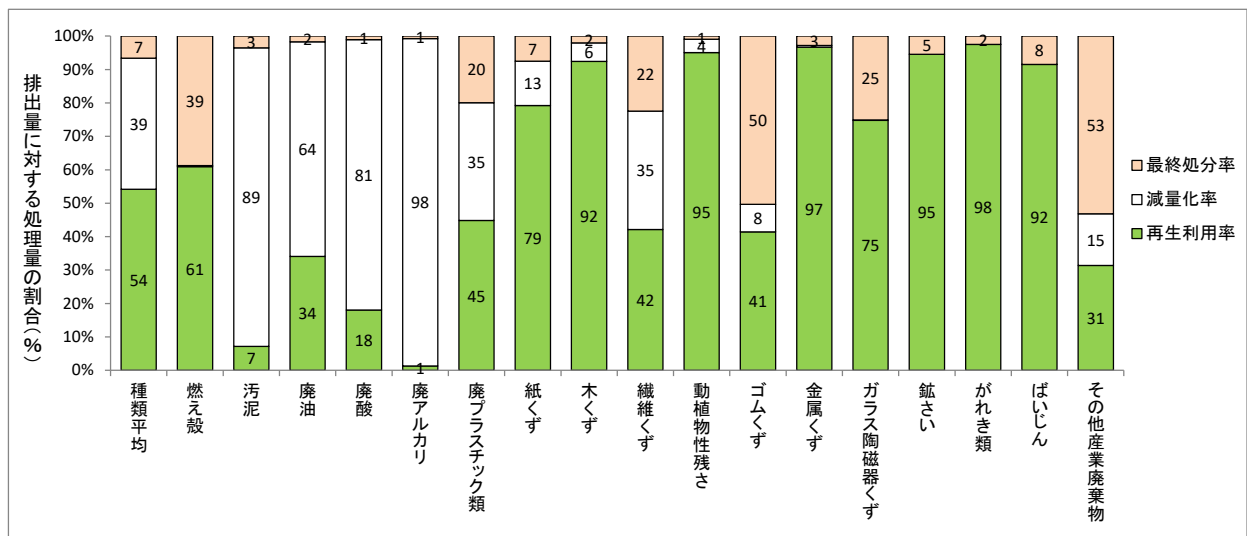
注 1) ()内の数値は排出量に占める割合で、端数処理の関係により割合の合計が 100%にならない場合がある。以下の図表において同じ。

注 2) 保管量は、排出事業者及び産業廃棄物処理業者に対して実施したアンケート調査等結果から、定量化できたものを集計したもの。以下の図表において同じ。

排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の構成比を種類別にみると、**図 2-5** のとおりである。

汚泥、廃酸、廃アルカリは減量化される割合が高く、動植物性残さ、金属くず、鉱さい、がれき類は再生利用率が高くなっている。

一方で、燃え殻、ゴムくず、その他産業廃棄物（混合物等）は、最終処分量が高くなっている。



※図中の構成比 (%) の数値は、四捨五入しているため合計が 100%にならない場合がある。以下の図表において同じ。

図 2-5 種類別の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の構成比

なお、産業廃棄物の処理状況を詳細にみたフローは、**図 2-6** のとおりである。

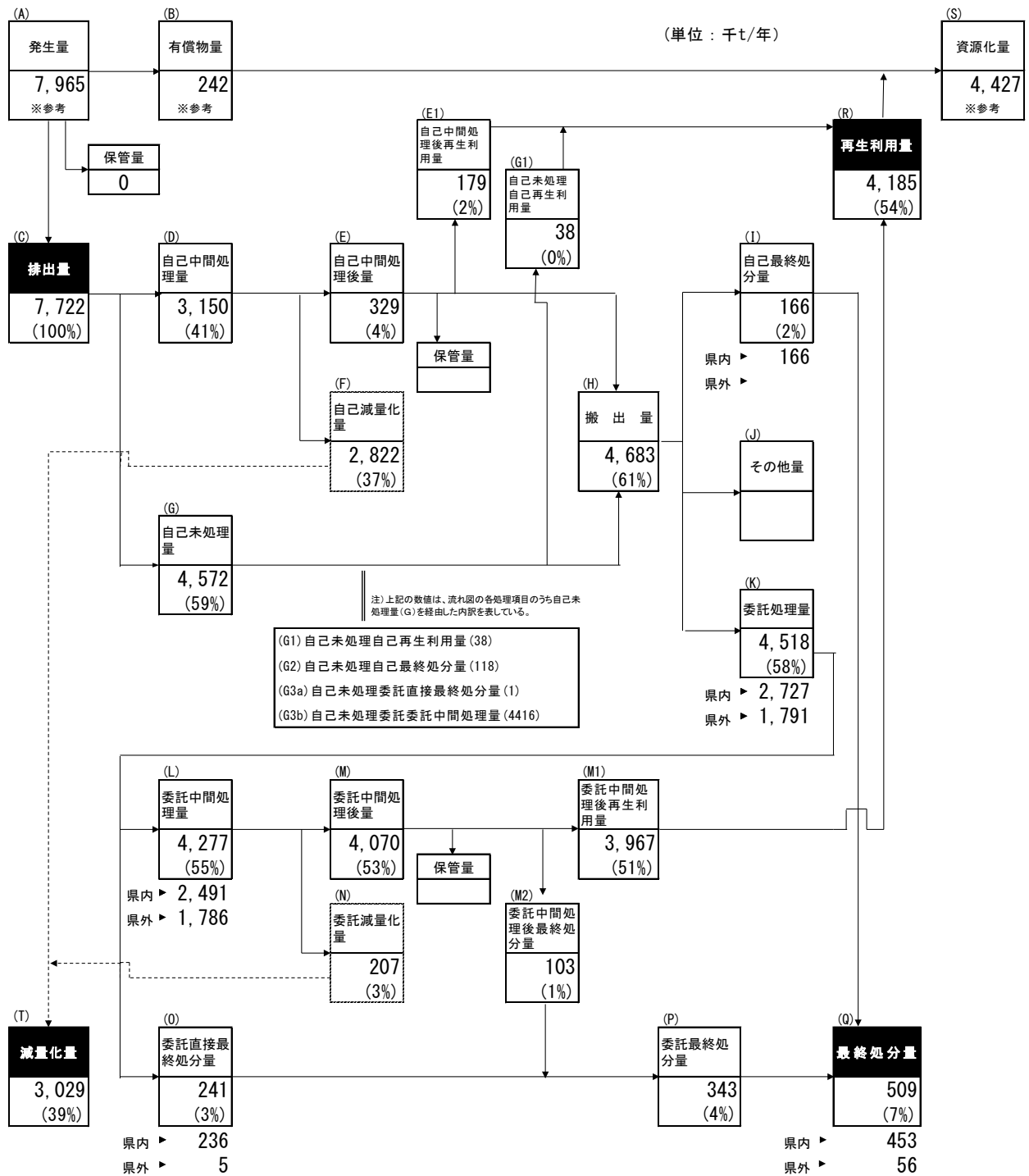


図 2-6 産業廃棄物の処理フロー (詳細)

2.3 廃棄物処理計画で定めた目標値に対する達成状況

福島県廃棄物処理計画（平成27年3月）では、令和2年度における目標値を「排出量（825万トン以下）」、「再生利用率（51%以上）」、「最終処分率（8%以下）」としており、福島県では達成状況の進行管理を行っている。

この目標値に対する実績値は、図2-7及び図2-8のとおりである。

令和元年度実績を目標値と比較すると、排出量（令和元年度:7,722千トン）、再生利用率（同:54%）、最終処分率（同:7%）であり、すべての項目で目標値を達成している。

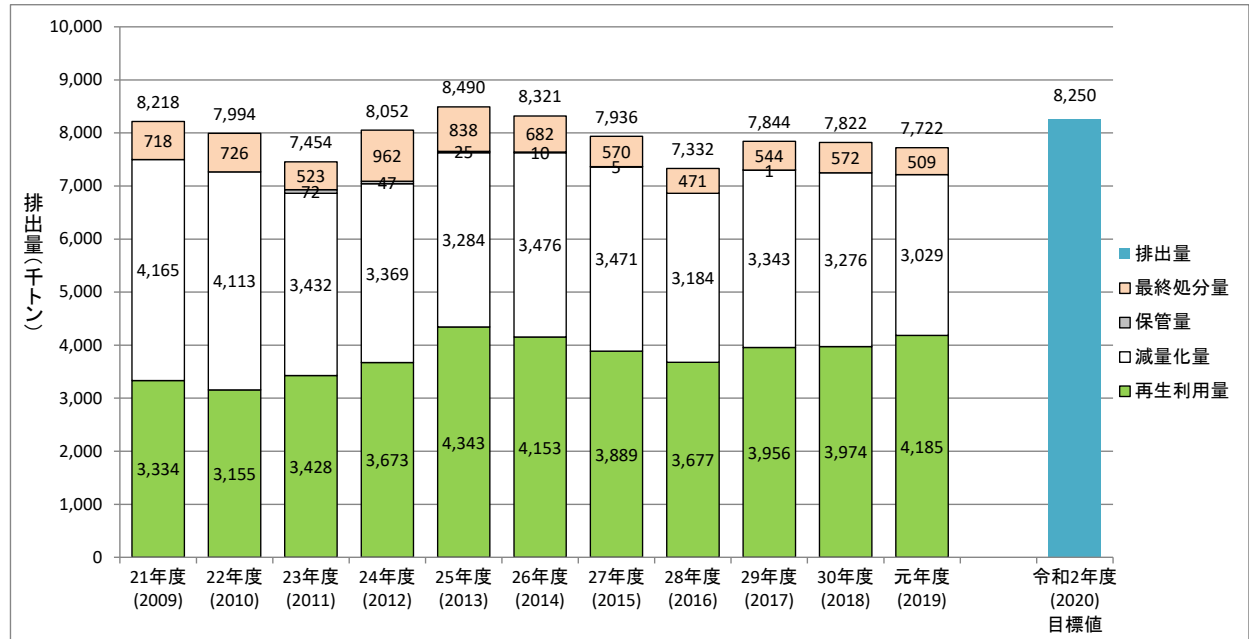


図 2-7 福島県廃棄物処理計画の達成状況（排出量）

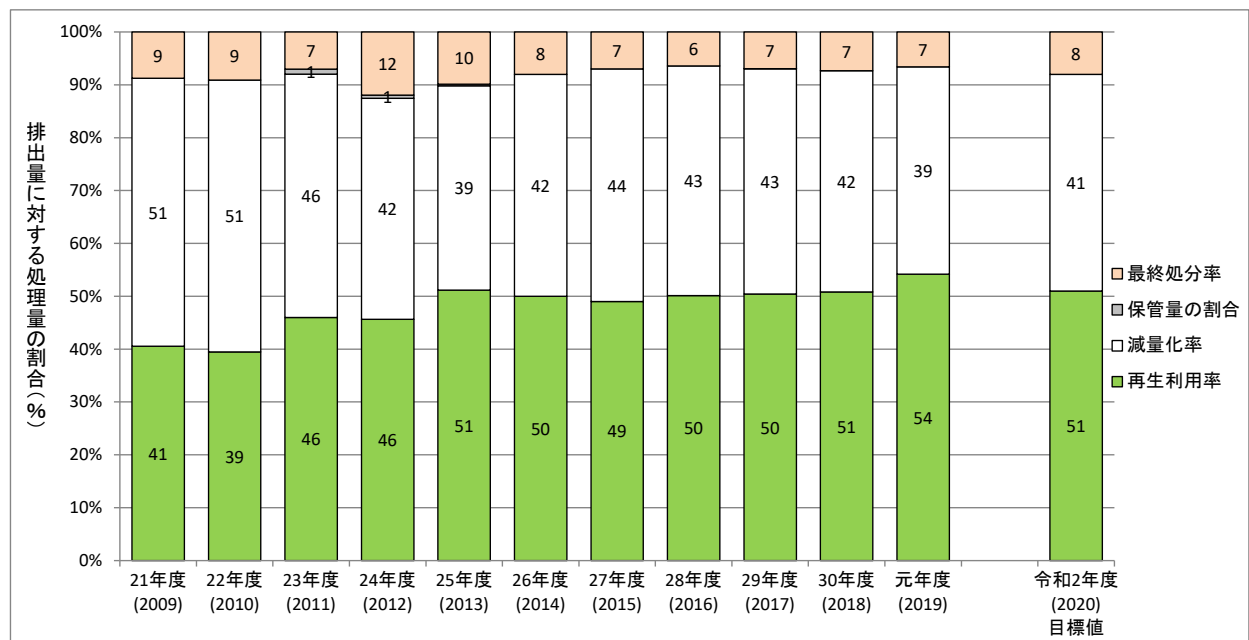


図 2-8 福島県廃棄物処理計画の達成状況（再生利用率・最終処分率）

2.4 地区別の産業廃棄物の処理状況

令和元年度の県内の産業廃棄物処理業者による中間処理実績及び最終処分実績を地区別にみると図 2-9 及び図 2-10 のとおりである。

産業廃棄物処理業者の中間処理実績を地区別にみると、いわき市が多くなっている。

産業廃棄物処理業者の最終処分実績を地区別にみると、いわき市、相双地区が多くなっている。

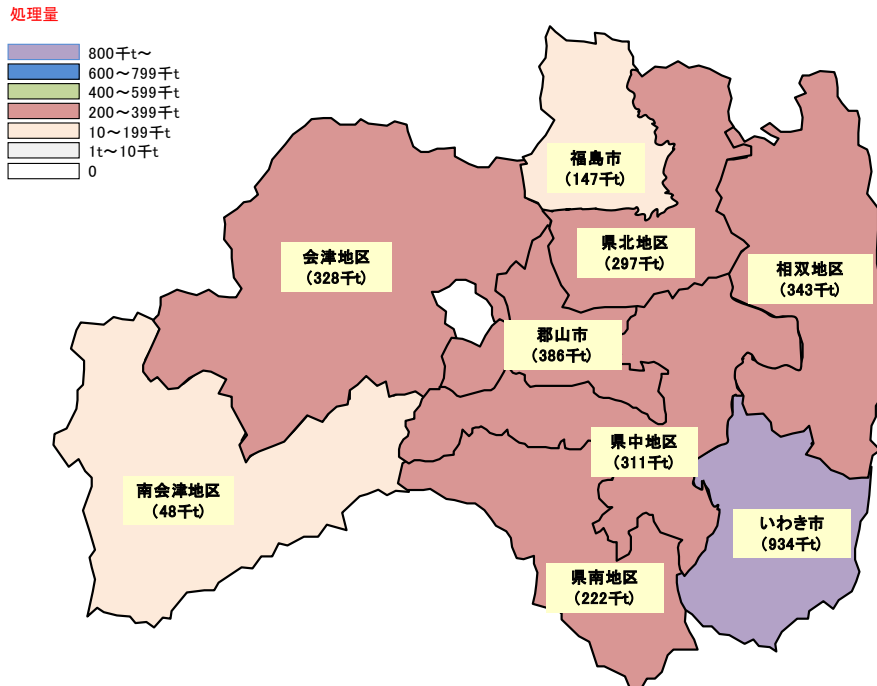


図 2-9 産業廃棄物処理業者の地区別中間処理実績

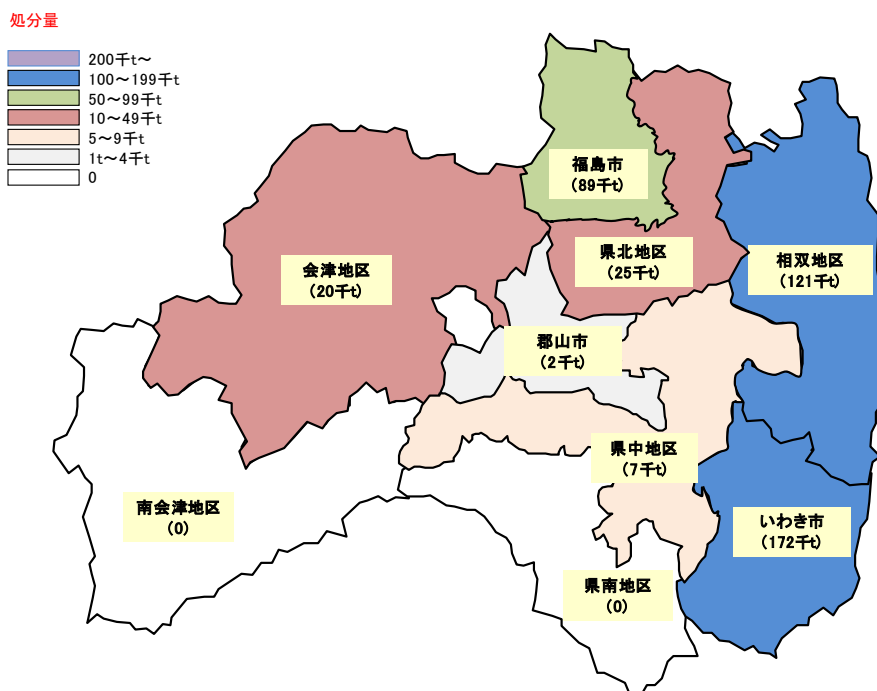


図 2-10 産業廃棄物処理業者の地区別最終処分実績

2.5 福島県廃棄物処理計画進行管理システムの更新結果

令和元年度実績として産業廃棄物処理業者及び排出事業者から提出された産業廃棄物の排出・処理状況に関する報告書のデータ（福島市、郡山市、いわき市分を含む。）等を基に、「福島県産業廃棄物処理計画進行管理システム」に情報登録し、福島県をとりまく産業廃棄物の物流を整理した結果は、**図 2-11**、**図 2-12** のとおりである。

(1) 図 2-11、図 2-12 における各断面のデータについて

●赤枠処理項目

廃棄物処理法に基づく**多量排出事業者**及び適正化条例に基づく**指定排出事業者**より排出された産業廃棄物のうち、排出事業者内で処理が完結している有償物量、自己減量化量、自己再生利用量、自己埋立処分量、保管量について、処理フローを作成した。

●青枠処理項目

福島県内（福島市、郡山市、いわき市含む）の**産業廃棄物処分業者**の処分実績から、処理フローを作成した。

なお、紫枠は、県外から搬入処理された産業廃棄物の量は除外した。

●緑枠処理項目

福島県（福島市、郡山市、いわき市含む）許可を有する**産業廃棄物収集運搬業者**の運搬実績（県外への搬出分）から、処理フローを作成した。

なお、紫枠は、県外から搬入処理された産業廃棄物を排除した。

(2) 図 2-11、図 2-12 の表示値について

図 2-11 は、**多量排出事業者**及び**指定排出事業者**、**産業廃棄物処分業者**、**収集運搬業者**の処理実績データを集計した。

図 2-12 は、図 2-11 のうち、排出事業者の業種が指定されている業種以外の事業所から発生した事業系一般廃棄物（紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、動物系固形不要物、動物のふん尿及び動物の死体）は除外した。

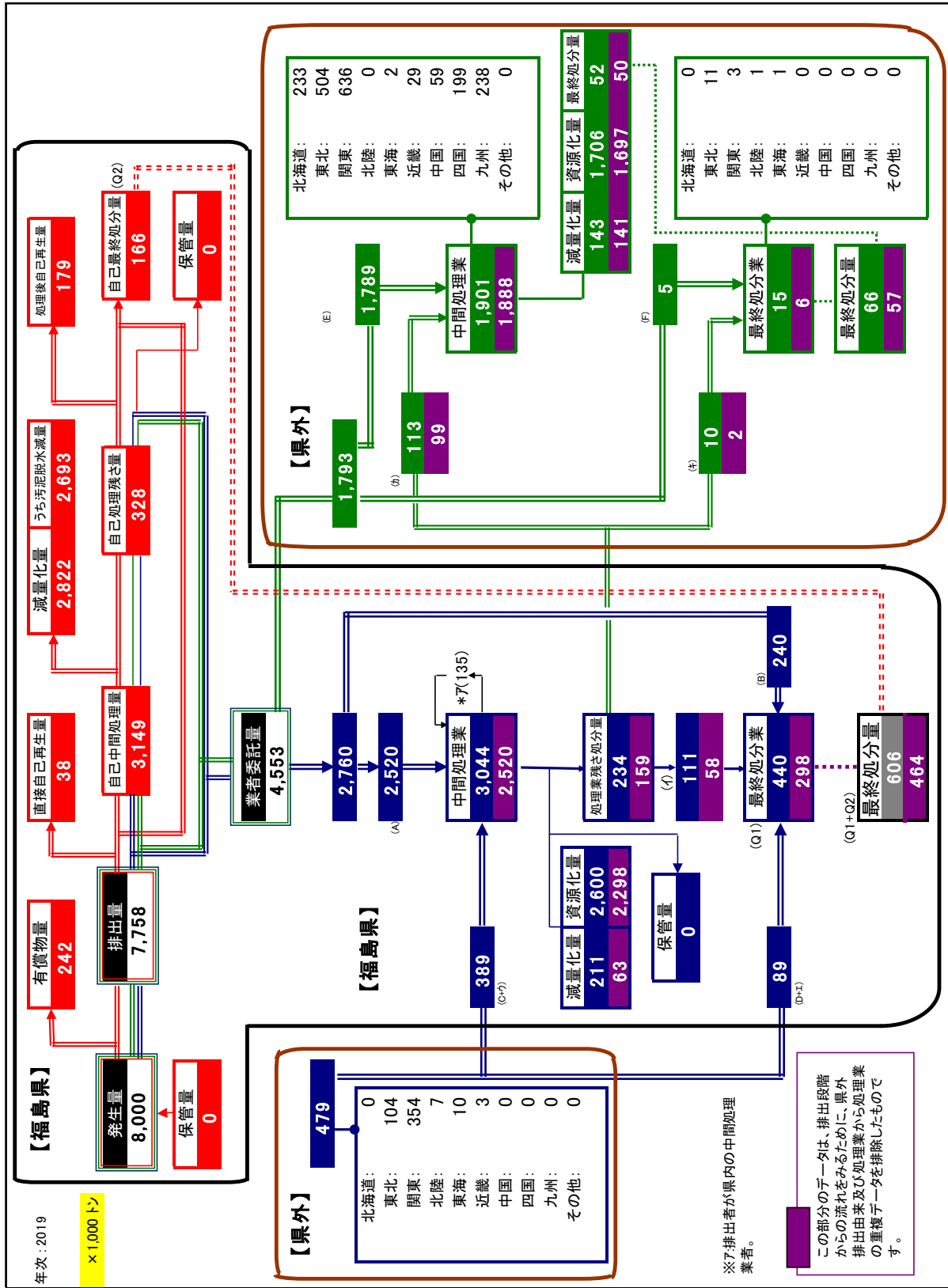


図2-11 福島県産業廃棄物処理計画進行管理システム（メインフロー）＜事業系一般廃棄物を含む＞

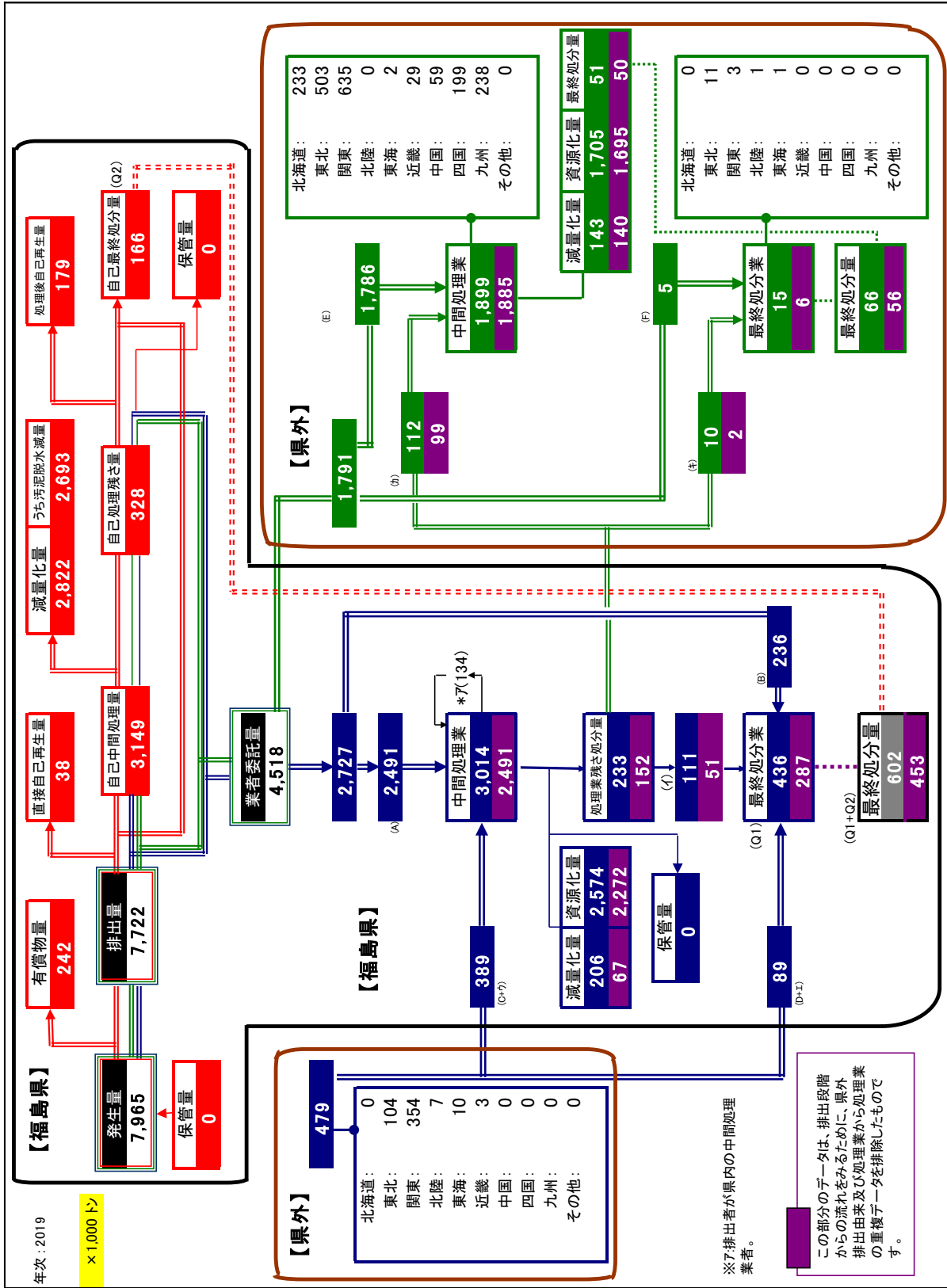


図2-12 福島県産業廃棄物処理計画進行管理システム（メインフロー）＜福島県産業廃棄物処理計画進行管理用＞

第3章 産業廃棄物処理業者の実績

3.1 県内の産業廃棄物処理業者の処分実績の概要

令和元年度における産業廃棄物処理業者の処分実績の概要は、図3-1のとおりである。

県内での中間処理量は3,014千トンとなっており、このうち2,625千トンが県内の排出事業者等から搬入され、389千トンが県外から搬入されている。

県内の最終処分量は436千トンで、このうち347千トンが県内の排出事業者等から搬入され、89千トンが県外から搬入されている。

県外へ搬出された産業廃棄物は1,914千トンで、このうち中間処理のため排出されたものが1,899千トン、最終処分のために搬出されたものが15千トンとなっている。

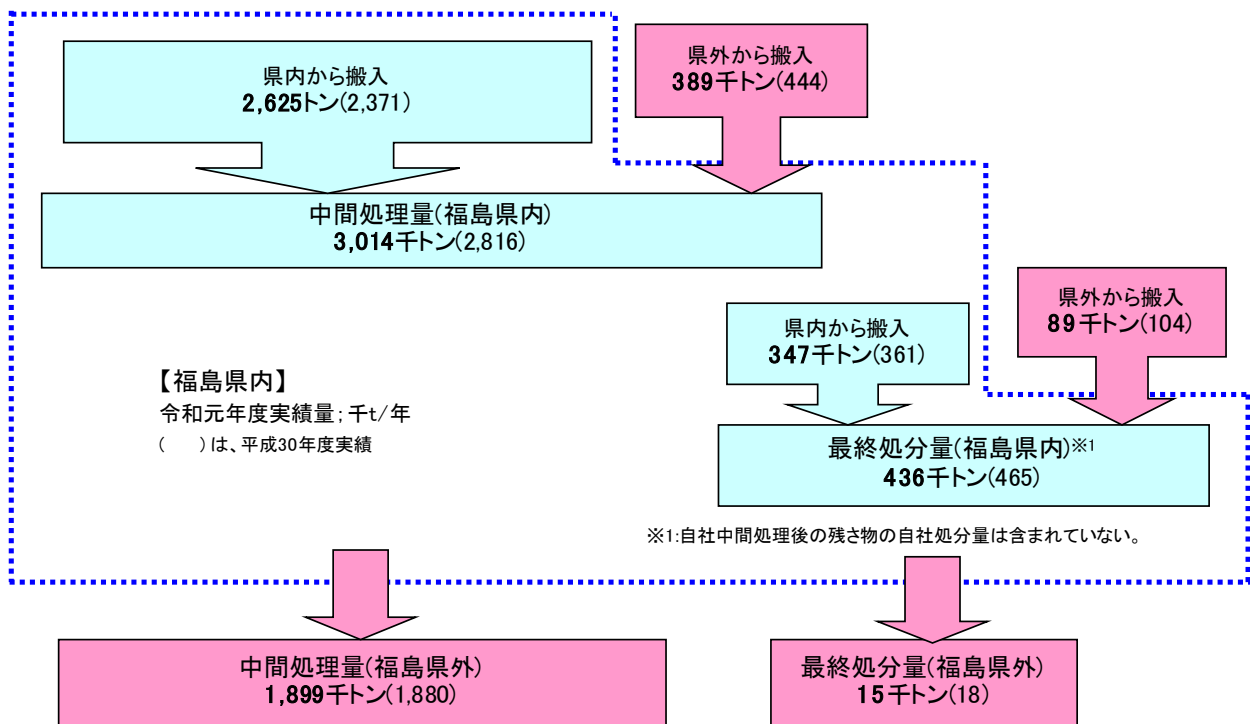


図3-1 産業廃棄物処理業者の処分実績の概要

1 県内の中間処理業者の処分実績

中間処理業者の産業廃棄物の種類別の処理量をみると、**図 3-2** 及び**表 3-1** のとおりである。中間処理業者の処理量 **3,014** 千トンのうち、がれき類が最も多くなっており、全体の **55%** を占めている。

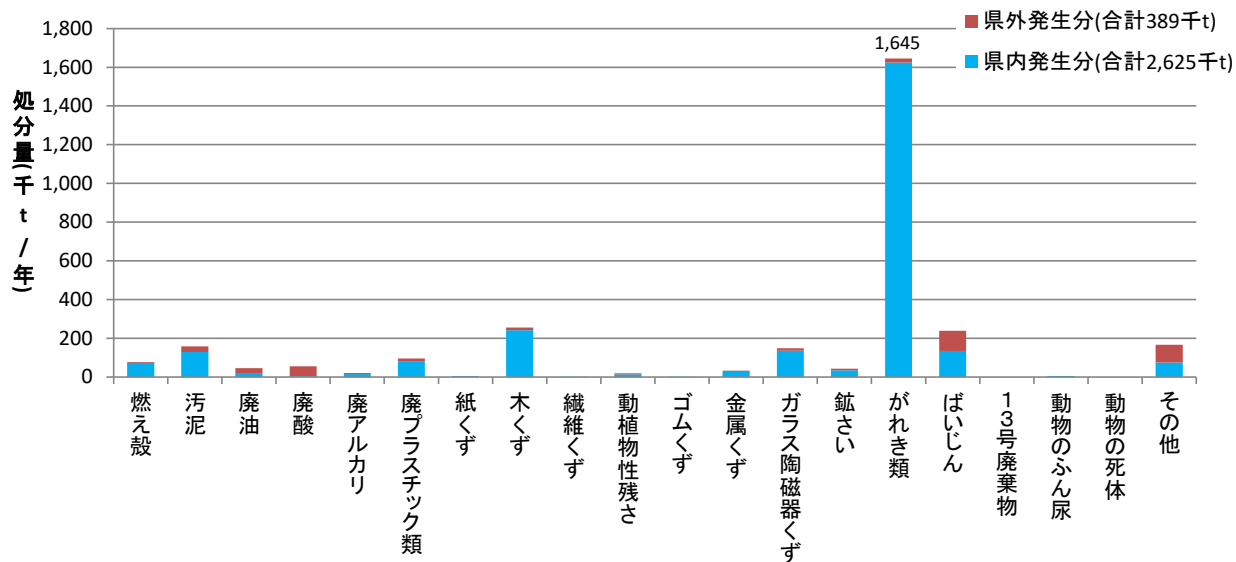


図 3-2 県内の中間処理業者の種類別処分実績

2 県内の最終処分業者の処分実績

最終処分業者の最終処分量を産業廃棄物の種類別にみると、**図 3-3** 及び**表 3-1** のとおりである。

最終処分業者の最終処分量 **436** 千トンのうち、ばいじんが最も多く、以下、燃え殻、汚泥、廃プラスチック類、がれき類の順となっており、この **5** 種類で全体の **84%** を占めている。

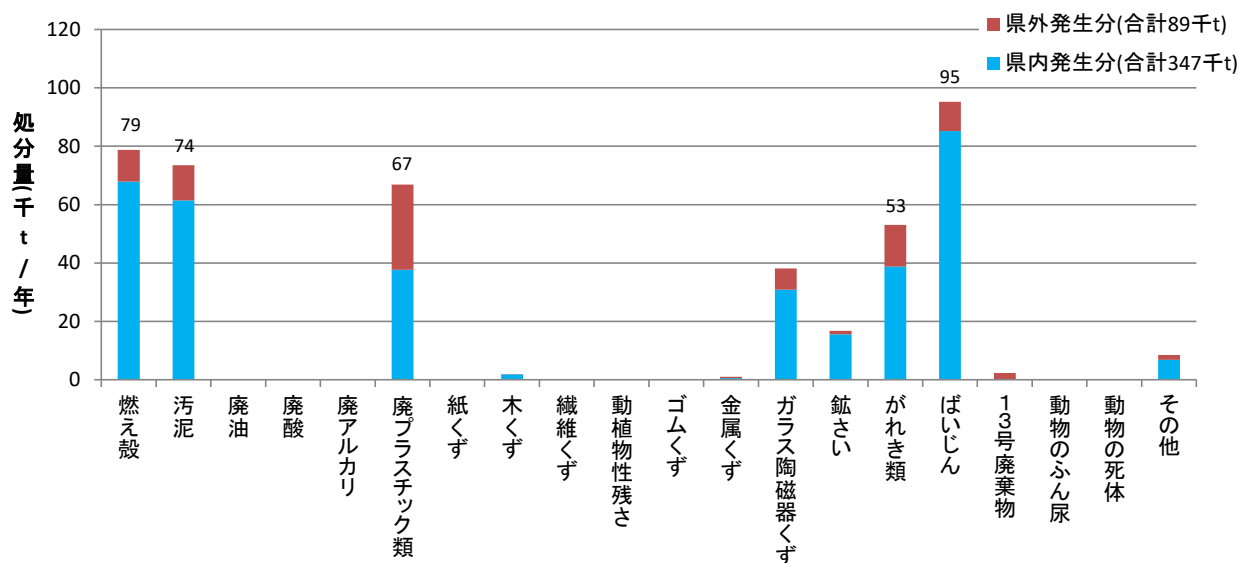


図 3-3 県内の最終処分業者の種類別処分実績

3 県外へ搬出された産業廃棄物の処分実績（収集運搬者実績報告より）

県内へ搬出された産業廃棄物の処分量を種類別にみると図 3-4 及び表 3-1 のとおりである。

県外へ搬出された産業廃棄物 1,914 千トンのうち、ばいじんが全体の 70%を占めている。

なお、県外へ搬出されたばいじんのほとんどはセメント原料などに資源化されている。

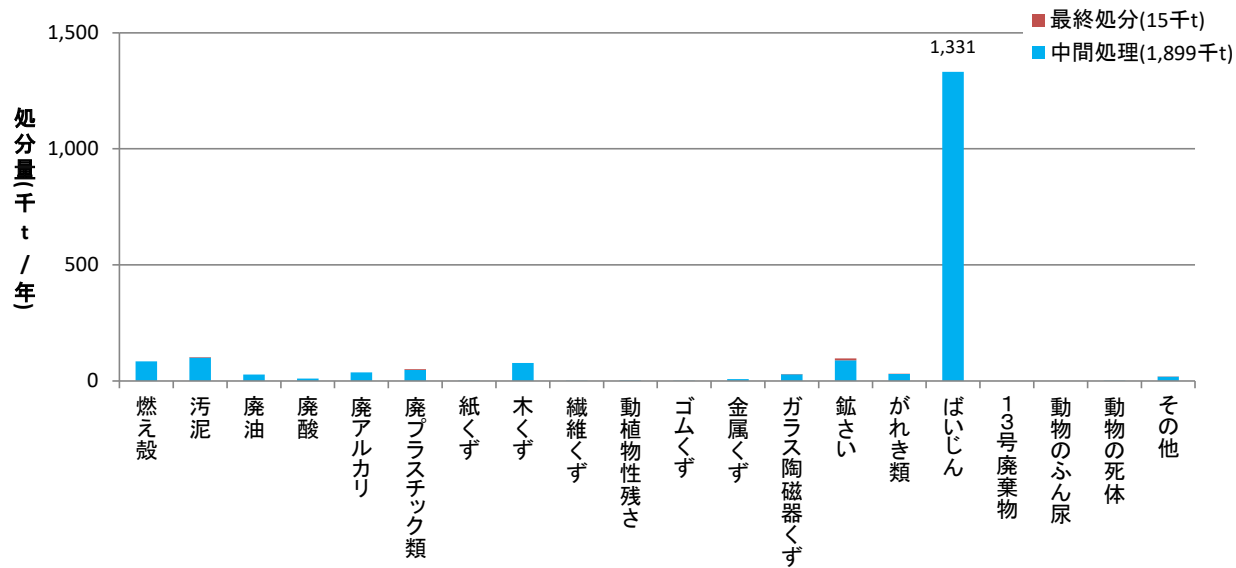


図 3-4 県外へ搬出された産業廃棄物の種類別処分実績

3.2 産業廃棄物処理業者の中間処理

県内の中間処理施設で処理された実績量を処理地区別及び委託元である発生地区別にみると、**図 3-5**～**図 3-6** 及び**表 3-2**～**表 3-3** のとおりである。

県内の中間処理業者の中間処理量 3,014 千トン进行处理地区別にみると、いわき市が 934 千トンで最も多く、以下、郡山市が 386 千トン、相双地区が 343 千トン、会津地区が 328 千トン、県中地区が 311 千トン、県北地区が 297 千トン、県南地区が 222 千トン等となっている。**(図 3-5、表 3-2)**

県内の中間処理施設で処理された実績量を委託元である発生地区別にみると、県内では、いわき市が 545 千トンで最も多く、以下、相双地区が 488 千トン、郡山市が 354 千トン、会津地区が 249 千トン、県中地区が 236 千トン、県北地区が 222 千トン、福島市が 209 千トン等となっている。**(図 3-6、表 3-3)**

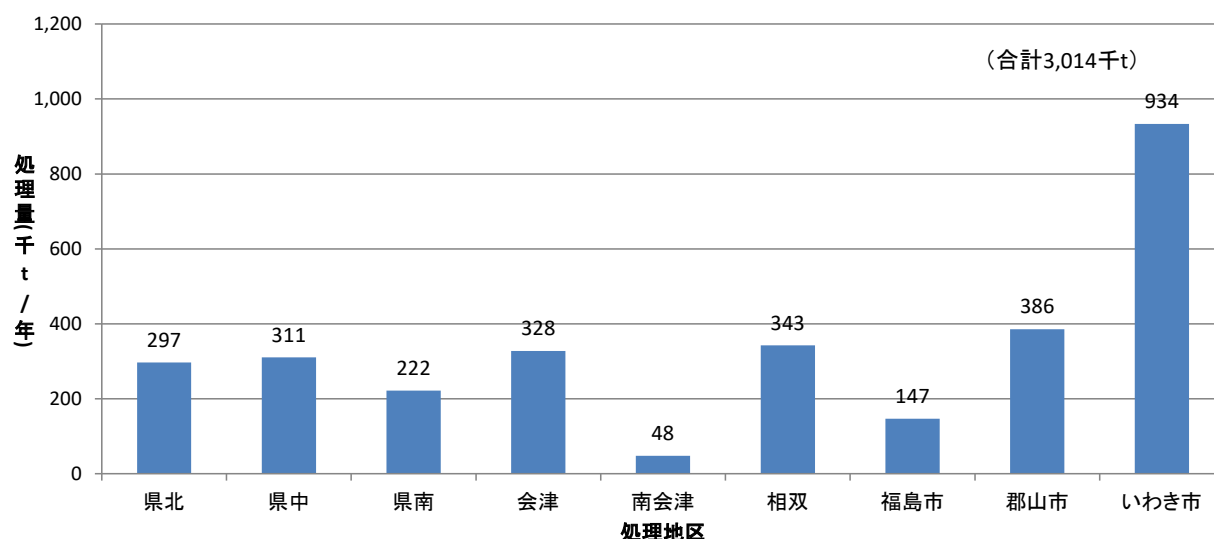
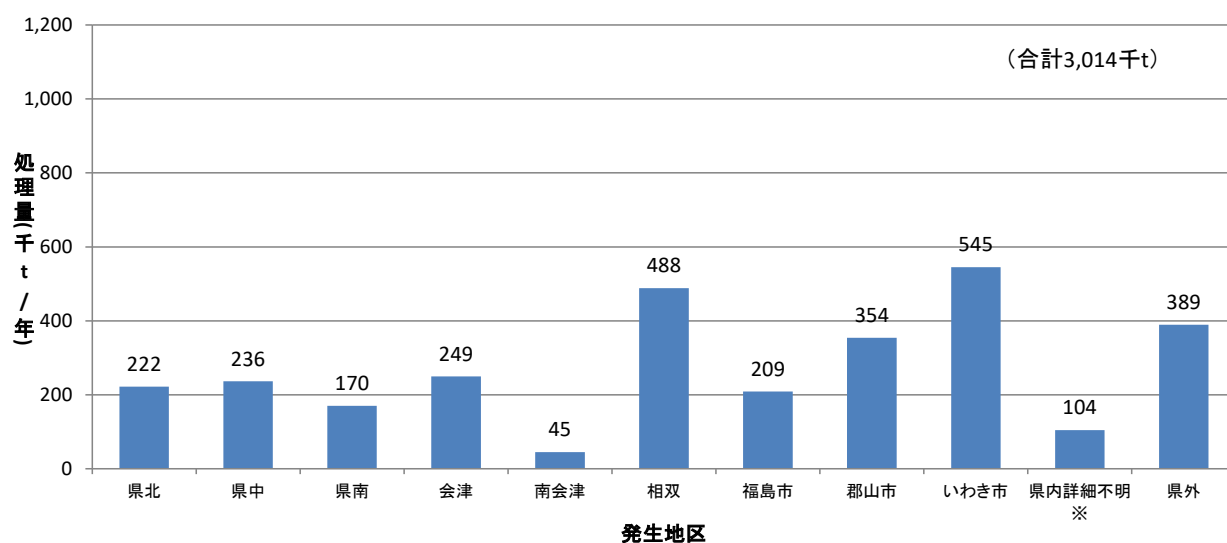


図 3-5 処理地区別の中間処理量



※県内詳細不明は、委託者の所在地が特定できなかったもの。

図 3-6 発生地区別の中間処理量

表 3-2 県内の中間処理業者の処理地区別処分実績（産業廃棄物処分実績報告データの集計結果）

(単位：t/年)

種類	処理地区	県内計									
		県北	県中	県南	会津	南会津	相双	福島市	郡山市	いわき市	
合計		3,014,246	296,615	310,916	221,908	327,743	47,815	342,708	147,050	385,843	933,649
燃え殻		77,550		4,001		65		67,224	5,117		1,142
汚泥		157,796	8,880	11,402	8,525	20,111		40,931	7,386	34,793	25,768
廃油		45,300	189		3,465	18,485		39		4,864	18,258
廃酸		55,731		5	260	1,565		203		801	52,897
廃アルカリ		21,152			4,918	5,484		2		1	10,747
廃プラスチック類		95,885	6,073	17,525	4,774	11,510	327	11,985	5,069	20,933	17,688
紙くず		4,834	0	1,764	224	378	44	325	438	1,463	198
木くず		256,184	14,843	48,108	54,617	33,102	4,352	13,082	13,650	18,011	56,419
繊維くず		1,427	28	95	36	58	13	167	446	345	241
動植物性残さ		19,017		9,742	4,834	49		165	3,520	225	482
動物系固形不要物											
ゴムくず		2									2
金属くず		33,122	6,820	9,786	696	693	218	522	1,805	7,500	5,082
ガラス陶磁器くず		148,784	9,219	10,948	13,153	20,383	2,828	9,680	4,537	13,110	64,926
鉱さい		42,746	1,475	413	11,561	31			2,175	14,759	12,332
がれき類		1,645,096	244,216	184,426	114,844	167,153	39,976	196,848	89,284	262,548	345,800
ばいじん		238,298		10,051		42,636			4,430		181,182
13号廃棄物											
動物のふん尿		4,872	4,872								
動物の死体		0									0
その他		166,450		2,650		6,040	58	1,535	9,194	6,490	140,483
感染性廃棄物		11,795				1,687		103		110	9,895
混合廃棄物		151,200		2,643		3,921	58	1,432	9,194	6,376	127,577
その他		3,454		7		431		0		5	3,012

表3-3 県内の中間処理業者の発生地区別実績（産業廃棄物処分実績報告データの集計結果）＜その1＞

(単位：t/年)

発生地区 種類	県内計										県外計				
	物流計	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	福島市	郡山市	いわき市	県内地域 詳細不明	北海道	青森県	岩手県	宮城県
合計	3,014,246 (100.0%)	222,087 (7.4%)	236,451 (7.8%)	170,333 (5.7%)	249,493 (8.3%)	44,987 (1.5%)	488,369 (16.2%)	209,197 (6.9%)	354,159 (11.7%)	545,318 (18.1%)	104,472 (3.5%)	249 (0.0%)	787 (0.0%)	1,891 (0.1%)	54,887 (1.8%)
燃え殻	77,550	2	0		17		71,749	1	56	1,295		4,430		68	32
汚泥	157,796	13,444	8,225	5,481	11,945	494	32,355	4,318	31,852	15,949	5,229	28,504	7	222	695
廃油	45,300	1,230	1,055	1,193	2,175	82	1,537	934	2,879	6,135	0	28,080	0	32	994
廃酸	55,731	175	126	51	1,619	1	100	37	155	1,623		51,843	0	802	32
廃アルカリ	21,152	1,411	486	2,924	3,264	8	1,087	21	1,480	4,000		6,472	0	2	184
廃プラスチック類	95,885	6,996	7,764	4,193	5,848	603	14,923	8,959	18,079	14,124	271	14,125	0	87	3,635
紙くず	4,834	365	732	329	190	47	518	620	1,207	438	16	373			352
木くず	256,184	17,241	41,021	25,511	32,198	4,485	27,445	16,874	25,150	50,870	744	14,645		0	329
繊維くず	1,427	111	119	38	108	20	206	314	267	244					
動植物性残さ	19,017	874	2,745	1,768	158		114	951	3,962	182	3,520	4,744			1,066
動物系固形不要物															
ゴムくず	2		2												
金属くず	33,122	2,322	4,080	1,451	1,122	269	1,570	3,514	12,074	5,654	91	974	0	135	371
ガラス陶磁器くず	148,784	11,272	10,226	7,660	20,357	1,941	21,522	6,092	14,845	42,328	27	12,513	0	8	5,641
鋳さい	42,746	5,566	1,017	10,204	251		433	5	496	16,724		8,051			3,207
がれき類	1,645,096	153,090	152,506	108,731	163,881	36,932	230,139	160,607	235,307	326,648	56,798	20,457	3		14,278
ばいじん	238,298		0	45	2,376	2	81,763			50,985		103,127	656		21,083
13号廃棄物															
動物のふん尿	4,872	4,872													
動物の死体	0			0					0						
その他	166,450	3,114	6,348	755	3,984	103	2,909	5,949	6,353	8,118	37,775	91,041	241	115	2,987
感染性廃棄物	11,795	281	148	104	540	23	159	1,043	954	1,192		7,350		0	1,017
混合廃棄物	151,200	2,827	5,847	640	3,408	75	2,706	4,841	5,385	6,600	37,775	81,095		53	1,453
その他	3,454	6	353	11	36	4	43	65	13	326		2,596	241	62	517

表3-3 県内の中間処理業者の発生地区別実績（産業廃棄物処分実績報告データの集計結果）＜その2＞

(単位：t/年)

発生地区 種類	発生地区																
	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県
合計	1,493 (0.0%)	6,776 (0.2%)	-	105,525 (3.5%)	25,923 (0.9%)	21,484 (0.7%)	32,464 (1.1%)	61,793 (2.1%)	13,840 (0.5%)	12,340 (0.4%)	30,789 (1.0%)	6,659 (0.2%)	92 (0.0%)	292 (0.0%)	630 (0.0%)	1,996 (0.1%)	106 (0.0%)
燃え殻	360	475	-	833	760	140	45	69	623	2	1,022						
汚泥		360	-	2,861	2,140	3,893	4,269	1,355	1,186	994	7,696	348	14	78	15	833	51
廃油	23	787	-	4,802	867	3,193	1,400	3,217	1,450	1,561	5,385	534	45	31	23	296	5
廃酸	2	485	-	48,992	166	8	94	151	90	165	118	4	7	3	126	3	6
廃アルカリ	8	345	-	2,051	465	9	104	1,147	44	1,046	279	7	24	158	391	3	3
廃プラスチック類	300	292	-	1,231	1,569	27	1,285	1,407	1,190	1,491	1,009	55	0	0	1	175	16
紙くず			-	16	5												
木くず		672	-	7,435	1,485	5	1,642	1,800	1,102	156	17						
繊維くず			-														
動植物性残さ			-	33			3,267	125	4		178				56		
動物系固形不要物			-														
ゴムくず			-														
金属くず	70	73	-	137	44	1	5	13	8	68	3					1	5
ガラス陶磁器くず	0	94	-	3,486	1,272	1,252	32	32	445	134	92				0	0	18
紐さい		262	-	1,909	99	30	1,537		185		821		2				
がれき類		142	-	4,001	816	12	63	259	209	108	347	219					
ばいじん	719	2,665	-	20,028	10,464	1,791	10,659	6,570	5,586	3,375	12,317	5,021				35	
13号廃棄物			-														
動物のふん尿			-														
動物の死体			-														
その他	11	123	-	7,712	5,770	11,124	8,062	45,648	1,718	3,243	1,507	473		22	18	649	2
感染性廃棄物	9	32	-	2,863	866	197	545	62	476	803	441				17		
混合廃棄物			-	4,740	4,874	10,768	7,505	45,440	1,022	2,336	670	443				648	
その他	3	91	-	109	30	158	12	147	220	104	396	29		22	1	1	2

表3-3 県内の中間処理業者の発生地区別実績（産業廃棄物処分実績報告データの集計結果）＜その3＞

発生地区 種類	(単位：t/年)																
	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県
合計	3,078 (0.1%)	2,248 (0.1%)	922 (0.0%)	447 (0.0%)	46 (0.0%)	1,567 (0.1%)	927 (0.0%)	17 (0.0%)	33 (0.0%)			69 (0.0%)	1 (0.0%)	2 (0.0%)		1 (0.0%)	0 (0.0%)
燃え殻	3																
汚泥	191	124	470	263	17	148	259	3	7			0	1			1	
廃油	1,424	317	32	14	27	497	641	4	13			68	0			0	0
廃酸	184	2	252	10	1	124	7	1	7			0					
廃アルカリ	43	4	84	0	0	45	13	1	6								
廃プラスチック類	48	7	32	130	0	1	0	1	0				0				
紙くず																	
木くず																	
繊維くず																	
動植物性残さ	15																
動物系固形不要物																	
ゴムくず																	
金属くず	2	28					1	0	1				0	2			
ガラス陶磁器くず	1	1				0	5	0	0								
鋳さい																	
がれき類																	
ばいじん		1,755	17	30		355											
13号廃棄物																	
動物のふん尿																	
動物の死体																	
その他	1,167	10	35			397	1	6									
感染性廃棄物	21																
混合廃棄物	1,142																
その他	4	10	35			397	1	6									

表3-3 県内の中間処理業者の発生地区別実績（産業廃棄物処分実績報告データの集計結果）＜その4＞

(単位：t/年)

発生地区 種類	発生地区									
	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	県外不明
合計	1 (0.0%)	3 (0.0%)		0 (0.0%)					0 (0.0%)	
燃え殻										
汚泥				0						
廃油		3								
廃酸										
廃アルカリ	0									
廃プラスチック類										
紙くず										
木くず										
繊維くず										
動植物性残さ										
動物系固形不要物										
ゴムくず										
金属くず		0							0	
ガラス陶磁器くず	1									
鉱さい										
がれき類										
ばいじん										
13号廃棄物										
動物のふん尿										
動物の死体										
その他										
感染性廃棄物										
混合廃棄物										
その他										

3.3 県内の産業廃棄物処理業者の最終処分

最終処分場で処分された実績量を処理地区別にみると、**図 3-7**～**図 3-8** 及び**表 3-4**～**表 3-5** のとおりである。

県内の最終処分業者の最終処分量 **436** 千トン进行处理地区別にみると、いわき市が **172** 千トンで最も多く、以下、相双地区が **121** 千トン、福島市が **89** 千トン等となっている。(図 3-7、表 3-4)

県内の最終処分場で処分された実績量を委託元である発生区別にみると、相双地区が **152** 千トンで最も多く、以下、県外が **89** 千トン、いわき市が **59** 千トン、郡山市が **36** 千トン、会津地区が **32** 千トン、福島市が **21** 千トン、県南地区が **18** 千トン等となっている。(図 3-8、表 3-5)

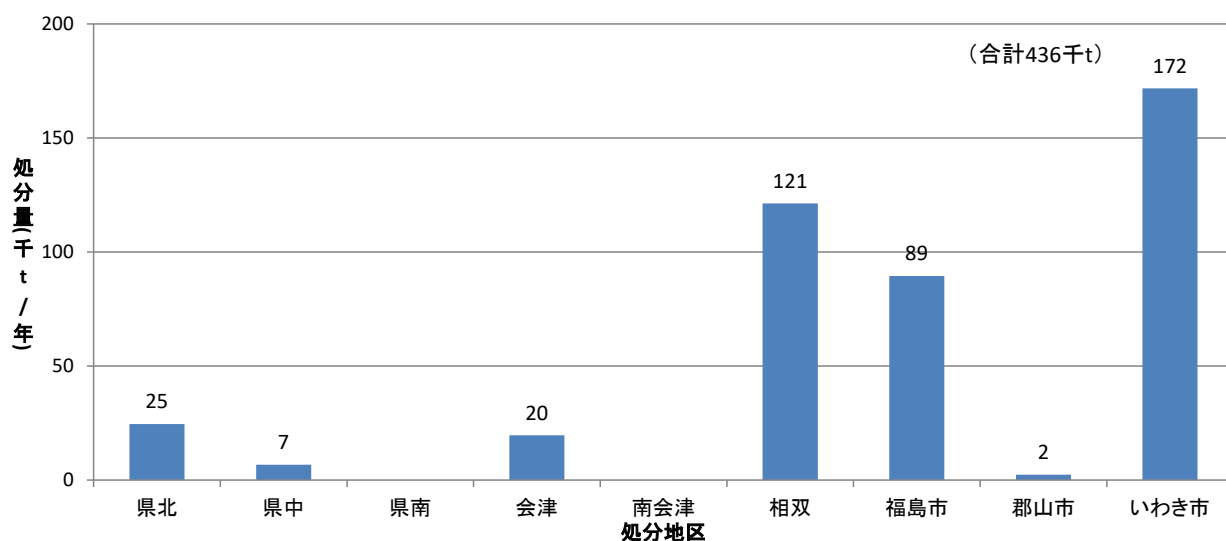
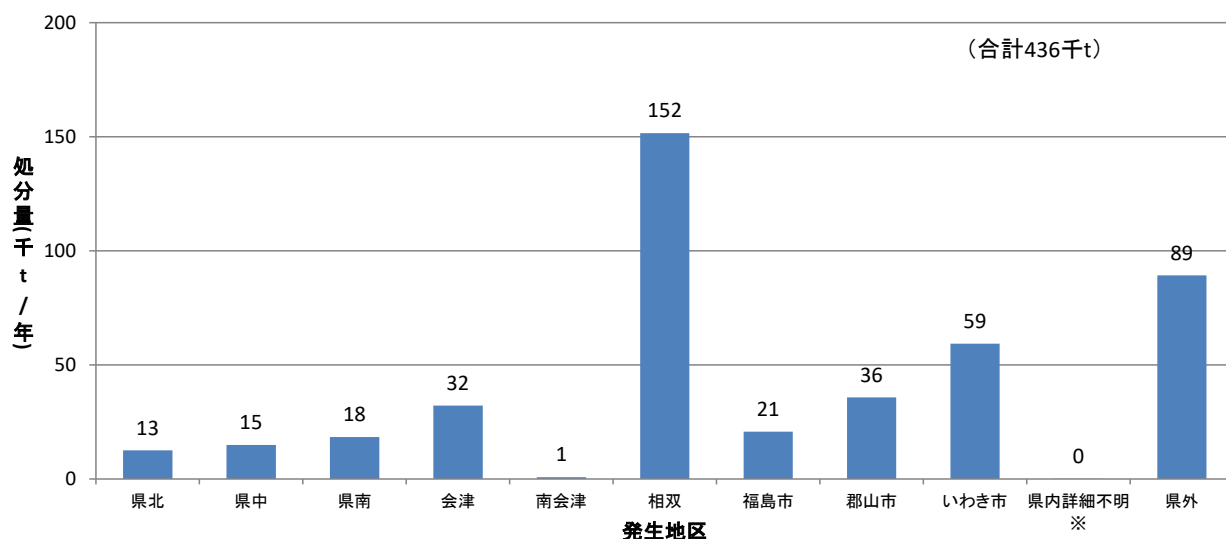


図 3-7 処分地区別の県内の最終処分業者による処分量



※県内詳細不明は、委託者の所在地が特定できなかったもの

図 3-8 発生地区別の最終処分業者による処分量

表 3-4 県内の最終処分業者の処分地区別処分実績（産業廃棄物処分実績報告データの集計結果）

(単位：t/年)

種類	処分地区	県内計									
		県北	県中	県南	会津	南会津	相双	福島市	郡山市	いわき市	
合計		436,023	24,608	6,811		19,688		121,295	89,448	2,373	171,801
燃え殻		78,744				6,221		44,401	16,651	19	11,452
汚泥		73,524	8,517			5,163		6,257	24,076	1,749	27,763
廃油											
廃酸											
廃アルカリ											
廃プラスチック類		66,849	440	2,881		329		0	3,404	225	59,570
紙くず		4							3		1
木くず		1,839							1,839		
繊維くず											
動植物性残さ		75				13				62	
動物系固形不要物											
ゴムくず		8							8		
金属くず		1,016	9	3		10			371	16	606
ガラス陶磁器くず		38,144	4,596	727		791			3,400	6	28,625
鉱さい		16,762	6,986			1,610			5,524	293	2,349
がれき類		53,042	4,061	2,835		894		35	15,603	2	29,613
ばいじん		95,208				444		70,602	16,219		7,942
13号廃棄物		2,349							2,349		
動物のふん尿											
動物の死体											
その他		8,459		366		4,212			2		3,879
	感染性廃棄物										
	混合廃棄物	8,456		366		4,212					3,879
	その他	2							2		

表3-5 県内の最終処分業者の発生地区別実績（産業廃棄物処分実績報告データの集計結果）＜その1＞

(単位：t/年)

発生地区 種類	県内計										県外計				
	物流計	県北	県中	県南	金津	南会津	相双	福島市	郡山市	いわき市	県内地域 詳細不明	北海道	青森県	岩手県	宮城県
合計	436,023 (100.0%)	12,611 (2.9%)	14,974 (3.4%)	18,394 (4.2%)	32,252 (7.4%)	856 (0.2%)	151,638 (34.8%)	20,727 (4.8%)	35,812 (8.2%)	59,378 (13.6%)	120 (0.0%)			781 (0.2%)	4,591 (1.1%)
燃え殻	78,744	196	123	1,017	8,820	4	45,685	383	2,477	9,141				252	537
汚泥	73,524	3,555	4,429	6,818	5,682	154	14,527	3,940	7,805	14,481	51			486	
廃油															
廃酸															
廃アルカリ															
廃プラスチック類	66,849	3,585	3,304	1,764	1,422	57	7,405	5,837	6,098	8,206					1,582
紙くず	4									1					3
木くず	1,839		1,832												7
繊維くず															
動植物性残さ	75		62		13										
動物系固形不燃物															
ゴムくず	8														
金属くず	1,016	15	2	195	15		2	201	36	120					429
ガラス陶磁器くず	38,144	425	2,491	684	1,276	212	6,958	2,504	7,270	9,003	60				7,260
鉱さい	16,762	543	146	1,093	9,706	127	3,629	130	185	25				43	
がれき類	53,042	3,843	2,365	3,296	1,549	293	1,895	7,574	11,202	6,757	8				14,260
ばいじん	95,208	1	17	3,515	1,669		71,104	148	316	8,405					10,032
13号廃棄物	2,349														2,349
動物のふん尿															
動物の死体															
その他	8,459	447	202	3	2,099	11	433	2	423	3,237					1,603
感染性廃棄物															
混合廃棄物	8,456	447	202	3	2,099	11	433	2	422	3,237					1,603
その他	2								1						

表3-5 県内の最終処分業者の発生地区別実績（産業廃棄物処分実績報告データの集計結果）＜その2＞

(単位：t/年)

発生地区 種類	発生地区																
	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県
合計	55 (0.0%)	126 (0.0%)	-	9,564 (2.2%)	12,782 (2.9%)	23,304 (5.3%)	16,881 (3.9%)	2,743 (0.6%)	7,875 (1.8%)	7,038 (1.6%)	1,516 (0.3%)	14 (0.0%)			14 (0.0%)	2,000 (0.5%)	
燃え殻			-	225	1,970	686	5,333	363	43	995	494						
汚泥			-	3,327	388	1,472	4,217		1,613	408	170						
廃油			-														
廃酸			-														
廃アルカリ			-														
廃プラスチック類			-	2,728	1,102	14,858	2,908	683	2,100	1,985	414				9	801	
紙くず			-		3												
木くず			-		7												
繊維くず			-														
動植物性残さ			-														
動物系固形不要物			-														
ゴムくず			-														
金属くず			-	9	419												
ガラス陶磁器くず			-	1,238	908	2,570	611	12	523	1,107	125				2	4	
鉱さい			-		737	31	137		197		35						
がれき類	55		-	1,562	2,461	1,238	2,390	276	2,410	1,767	278				3	1,195	
ばいじん		126	-	106	2,707	1,230	1,284	1,408	989	493							
13号廃棄物			-		2,080					269							
動物のふん尿			-														
動物の死体			-														
その他			-	368		1,220		1		14							
感染性廃棄物			-														
混合廃棄物			-	368		1,220		1		14							
その他			-														

表3-5 県内の最終処分業者の発生地区別実績（産業廃棄物処分実績報告データの集計結果）＜その3＞

(単位：t/年)

発生地区 種類	発生地区																
	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県
合計	1 (0.0%)			1 (0.0%)													
燃え殻																	
汚泥																	
廃油																	
廃酸																	
廃アルカリ																	
廃プラスチック類				1													
紙くず																	
木くず																	
繊維くず																	
動植物性残さ																	
動物系固形不要物																	
ゴムくず																	
金属くず																	
ガラス陶磁器くず																	
鉱さい																	
がれき類	1																
ばいじん																	
13号廃棄物																	
動物のふん尿																	
動物の死体																	
その他																	
感染性廃棄物																	
混合廃棄物																	
その他																	

表3-5 県内の最終処分業者の発生地区別実績（産業廃棄物処分実績報告データの集計結果）＜その4＞

(単位：t/年)

発生地区 種類	発生地区									
	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	県外不明
合計										
燃え殻										
汚泥										
廃油										
廃酸										
廃アルカリ										
廃プラスチック類										
紙くず										
木くず										
繊維くず										
動植物性残さ										
動物系固形不要物										
ゴムくず										
金属くず										
ガラス陶磁器くず										
鉱さい										
がれき類										
ばいじん										
13号廃棄物										
動物のふん尿										
動物の死体										
その他										
感染性廃棄物										
混合廃棄物										
その他										

第4章 産業廃棄物多量排出事業者の排出・処理実績

4.1 多量排出事業者等における報告状況

多量排出事業者の実施報告及び指定排出事業者の実績報告書の報告数をみると、表 4-1 及び表 4-2 のとおりである。

多量排出事業者の実施報告は 327 事業者、指定排出事業者の実績報告は 23 業者となっている。また、その他年間の発生量が 500 t 未満の事業者の報告が 38 件あった。

表 4-1 多量排出事業者等における報告状況（令和元年度実績）

	廃棄物処理法に基づく多量排出事業者											(報告数)	
	計	産業廃棄物多量排出事業場					特別管理産業廃棄物多量排出事業場					適正化条 例に基づ く指定排 出事業者	その他
		小計	県所管	福島市	郡山市	いわき市	小計	県所管	福島市	郡山市	いわき市		
農業・林業													
漁業													
鉱業													
建設業	132	129	89	5	24	11	3	2		1		11	6
製造業	153	93	56	2	8	27	60	35	1	9	15	12	23
電気・ガス・ 水道業	26	25	14		3	8	1				1		
情報通信業	1	1	1										
運輸・郵便業	1						1				1		1
卸・小売業													
金融・保険業													
不動産業・ 物品賃貸業													
専門サービス業													
宿泊業・ 飲食サービス業													
生活関連 サービス業													
教育・学習 支援業													
医療・福祉業	14						14	7		4	3		8
複合サービス業													
サービス業													
公務													
計	327	248	160	7	35	46	79	44	1	14	20	23	38

*同一の事業場であっても、産業廃棄物と特別管理産業廃棄物を別々に集計してある。

多量排出事業者における令和 2 年度の発生量の目標値の報告数は表 4-2 のとおりであり、産業廃棄物に係るものが 232 事業者、特別管理産業廃棄物に係るものが 79 事業者の合計 311 事業者となっている。

表 4-2 多量排出事業者等における目標値の報告状況（令和 2 年度）

	廃棄物処理法に基づく多量排出事業者										(報告数) 適正化条 例に基づ く指定排 出事業者	
	計	産業廃棄物多量排出事業場					特別管理産業廃棄物多量排出事業場					
		小計	県所管	福島市	郡山市	いわき市	小計	県所管	福島市	郡山市		いわき市
農業・林業												
漁業												
鉱業												
建設業	115	113	77	5	22	9	2	2				19
製造業	154	91	54	1	8	28	63	37		8	18	11
電気・ガス・ 水道業	27	26	15		3	8	1	1				
情報通信業	1	1	1									
運輸・郵便業	1						1				1	
卸・小売業												
金融・保険業												
不動産業・ 物品賃貸業												
専門サービス業												
宿泊業・ 飲食サービス業												
生活関連 サービス業												
教育・学習 支援業												
医療・福祉業	12						12	5		4	3	
複合サービス業												
サービス業	1	1			1							1
公務												
計	311	232	147	6	34	45	79	45		12	22	31

*同一の事業場であっても、産業廃棄物と特別管理産業廃棄物を別々に集計してある。

4.2 産業廃棄物多量排出事業者等の属性

令和元年度における多量排出事業者の実施報告及び指定排出事業者の実績報告で集計した排出量（発生量－有価物量）をみると、図 4-1～図 4-2、表 4-3～表 4-4 のとおりである。

排出量 5,887 千トン種類別にみると、汚泥が最も多く、以下、ばいじん、がれき類等となっている。（図 4-1、表 4-3）

排出量を業種別にみると、電気・ガス・水道業が最も多く、以下、製造業、建設業等となっている。（図 4-2、表 4-4）

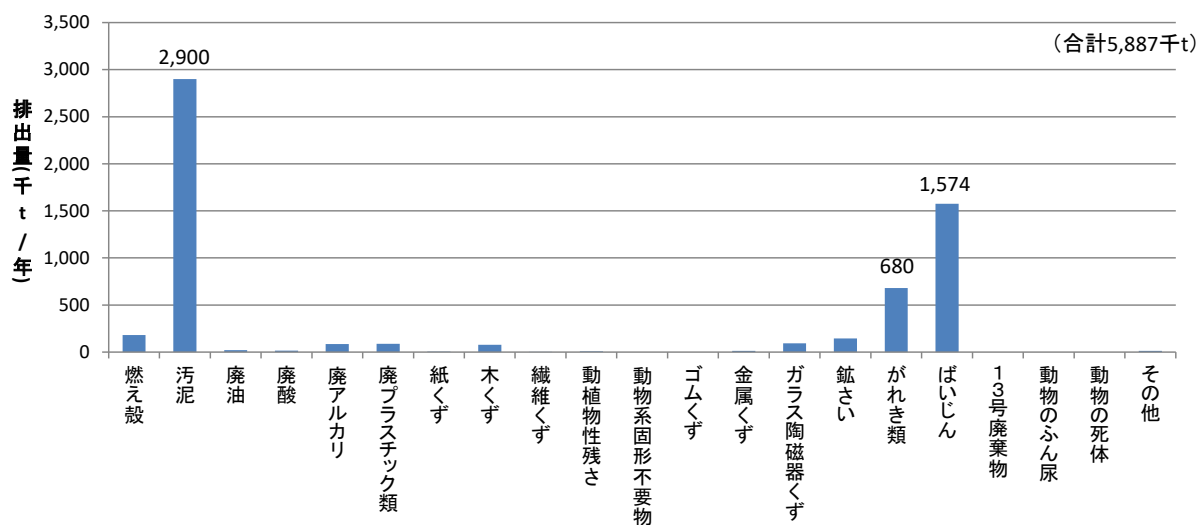


図 4-1 多量排出事業者等の種類別の産業廃棄物排出量

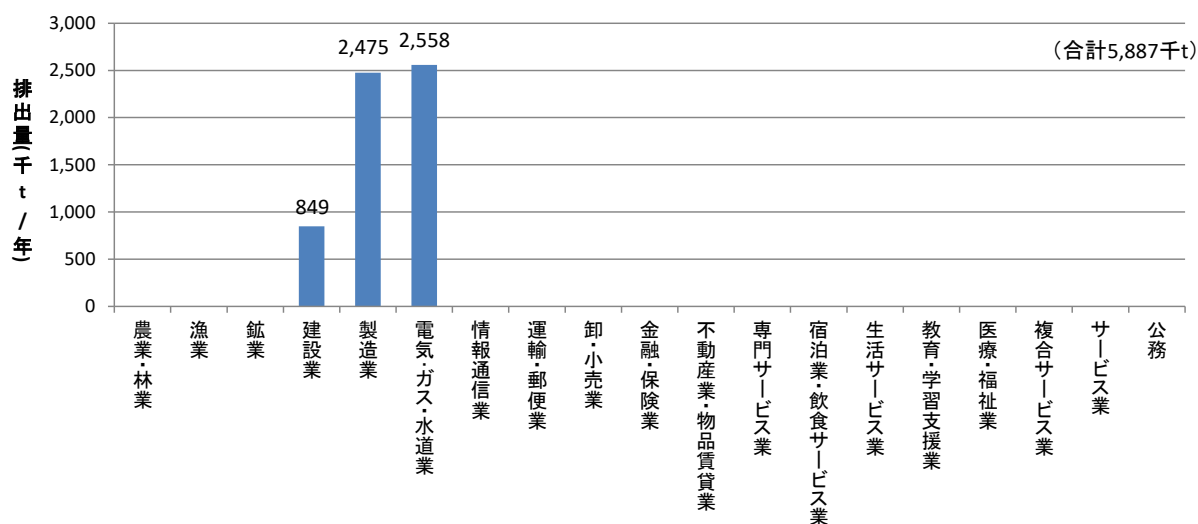


図 4-2 多量排出事業者等の業種別の産業廃棄物排出量

表4-3 産業廃棄物の種類別にみた多量排出事業者等の発生量及び処理・処分量

(単位：千t/年)

処理・処分 種類	自社処理									委託 処理量
	排出量	有価物量	直接再生 利用量	直接最終 処分量	中間処理量	減量化量	残さ量	中間処理 後の自己 利用・売 却量	中間処理 後の自己 最終処分 量	
合計	5,887 (100.0%)	242 (4.0%)	38 (0.6%)	112 (1.8%)	2,917 (47.6%)	2,720 (44.4%)	197 (3.2%)	51 (0.8%)	48 (0.8%)	2,918 (47.6%)
燃え殻	180	17		46						133
汚泥	2,900	140	27	0	2,755	2,619	137	0	48	206
廃油	19	2	0		2	2				17
廃酸	14	1	0		4	4	0			10
廃アルカリ	85	0	0		51	50	1	0		34
廃プラスチック類	88	3		0	49	44	5	4		40
紙くず	5	2	2		2	1	1	1		2
木くず	76	0			8	0	8	5		71
繊維くず	1				0	0	0	0		1
動植物性残さ	7									7
動物系固形不要物										
ゴムくず	0									0
金属くず	11	9	5	0	1		1	1		6
ガラス陶磁器くず	92		5	6	2	0	2	2		80
鉱さい	143	6			22		22	17		126
がれき類	680	1		1	21	0	21	21		658
ばいじん	1,574	61		59	0	0	0	0		1,515
13号廃棄物										
動物のふん尿										
動物の死体										
その他	13	0		0	0	0	0	0		13
感染性廃棄物	3				0	0	0			3
混合廃棄物	10	0		0	0		0	0		10
その他	0	0								0

表4-4 業種別にみた多量排出事業者等の産業廃棄物発生量及び処理・処分量

(単位：千t/年)

種類	処理・処分	自社処理								委託 処理量
		排出量	有価物量	直接再生 利用量	直接最終 処分量	中間処理量				
						減量化量	残さ量	中間処理 後の自己 利用・売 却量	中間処理 後の自己 最終処 分量	
合計	5,887 (100.0%)	242 (4.0%)	38 (0.6%)	112 (1.8%)	2,917 (47.6%)	2,720 (44.4%)	197 (3.2%)	51 (0.8%)	48 (0.8%)	2,918 (47.6%)
農業・林業										
漁業										
鉱業										
建設業	849	0	0	1	30	0	30	27		821
製造業計	2,475	22	38	6	2,105	1,986	118	23	48	374
食料品	20				12	11	1			9
飲料・飼料	4									4
繊維										
木材	1				0		0	0		1
家具										
パルプ・紙	1,408	3	2		1,388	1,355	32	3		48
印刷	10	6			7	5	2	1		4
化学	628	1	27	1	546	495	51		47	58
石油・石炭										
プラスチック										
ゴム	1									1
皮革										
窯業・土石	105		5	5	14	10	3	1	0	83
鉄鋼	10									10
非鉄金属	61		0	0	51	48	2	0		13
金属	3	0								3
はん用機器	6									6
生産用機器										
業務用機器	5	0								5
電子部品	30	1		0	17	15	2	0	1	13
電気機器	41				27	25	2			16
情報通信機器	20	0			19	18	1			1
輸送用機器	122	12	5		23	2	22	17		99
その他製造業	0									0
電気・ガス・水道業	2,558	219	0	105	782	733	49	0	0	1,719
電気業	1,773	219	0	105						1,668
ガス業										
熱供給業										
上水道業	67				65	62	3		0	5
工業用水道業										
下水道業	717				717	671	46	0		46
情報通信業	0	1								0
運輸・郵便業	2									2
卸・小売業										
金融・保険業										
不動産業・物品賃貸業										
専門サービス業										
宿泊業・飲食サービス業										
生活サービス業										
教育・学習支援業										
医療・福祉業	3				0	0	0			3
複合サービス業										
サービス業										
公務										
その他										

第5章 産業廃棄物の処理状況

5.1 再生利用の状況

1 再生利用量

排出事業者の業種別、産業廃棄物の種類別の再生利用量は、表 5-1 及び図 5-1 のとおりであり、種類別（再生利用時点の種類）にみると、がれき類が 1,652 千トン（39%）と最も多く占め、以下、ばいじんが 1,457 千トン（35%）、木くずが 246 千トン（6%）、燃え殻が 238 千トン（6%）となっている。

業種別にみると、建設業が 2,024 千トン（48%）と最も多く占め、以下、電気・ガス・水道業が 1,649 千トン（39%）、製造業が 350 千トン（8%）等となっている。

表 5-1 排出事業者の業種別、産業廃棄物の種類別の再生利用量

		(単位：千t/年)									
業種 再生利用 時点の種類	合計	鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・水道業	運輸・郵便業	卸・小売業	医療・福祉業	サービス業	その他の業種	
合計	4,185 (100%)	70 (2%)	2,024 (48%)	350 (8%)	1,649 (39%)	6 (0%)	11 (0%)	2 (0%)	60 (1%)	14 (0%)	
燃え殻	238 (6%)	0	1	72	162	0	0	0	2	1	
汚泥	210 (5%)	70	48	58	23	0	0	0	9	1	
廃油	14 (0%)		1	6	0	1	0	0	6	0	
廃酸	3 (0%)		0	3				0	0	0	
廃アルカリ	1 (0%)		0	0		0	0	0	1	0	
廃プラスチック類	76 (2%)	0	29	19	0	1	5	0	20	2	
紙くず	7 (0%)		4	3							
木くず	246 (6%)		242	3		0	0		0	0	
繊維くず	1 (0%)		1								
動植物性残さ	16 (0%)			16							
動物系固形不要物											
ゴムくず	0 (0%)				0						
金属くず	38 (1%)		14	7	0	0	4	0	10	2	
ガラス陶磁器くず	138 (3%)	0	25	90	7	4	1	1	8	3	
鉱さい	74 (2%)		0	55	17		0		1		
がれき類	1,652 (39%)		1,652	0							
ばいじん	1,457 (35%)		0	17	1,439				0	0	
動物のふん尿	5 (0%)									5	
その他	10 (0%)	0	7	0	0	0	0	0	3	0	

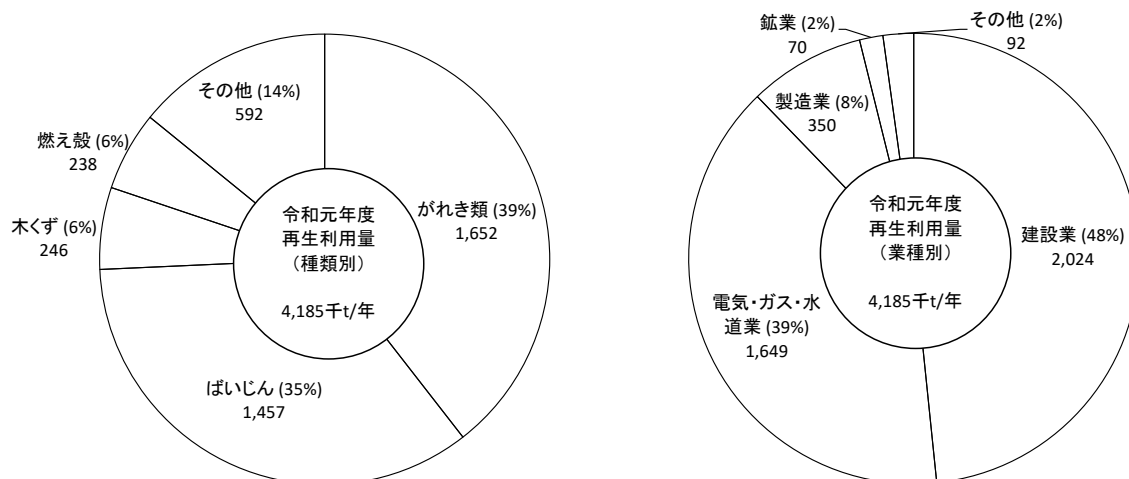


図 5-1 排出事業者の業種別、産業廃棄物の種類別の再生利用量

2 資源化状況の解析

産業廃棄物の処分業者及び収集運搬実績データから処理状況を整理し産業廃棄物の種類ごとの資源化状況を整理した結果は、**図 5-2** 及び**表 5-2** のとおりである。

なお、ここでは、県内の中間処理業者で中間処理（県外搬入物を含む）、及び県外の中間処理業者で資源化されたものを以下の用途別に集計した。

資源化用途別にみると、建設資材が 1,949 千トンで最も多く、以下、セメント原料が 1,397 千トン、工業用原料等が 1,081 千トン、堆肥化が 60 千トン、燃料が 56 千トンとなっている。

①工業用原料等（1,081 千トン）

汚泥、廃酸、廃プラスチック、木くず、鉱さい、ばいじん等を工業用原料として再利用又は、再生用途が多様で特定の用途に区分ができないもの及び詳細な用途が不明なもの。

②建設資材（1,949 千トン）

がれき類等を破碎、選別等し、建設資材として資源化。

③セメント原料（1,397 千トン）

セメント工場で原（燃）料として資源化。主に火力発電所のばいじん。

④堆肥化（60 千トン）

堆肥として資源化。主に有機性汚泥や動植物性残さ。

⑤燃料（56 千トン）

破碎・選別・圧縮等により燃料として資源化。主に廃プラスチック、木くず、廃油。

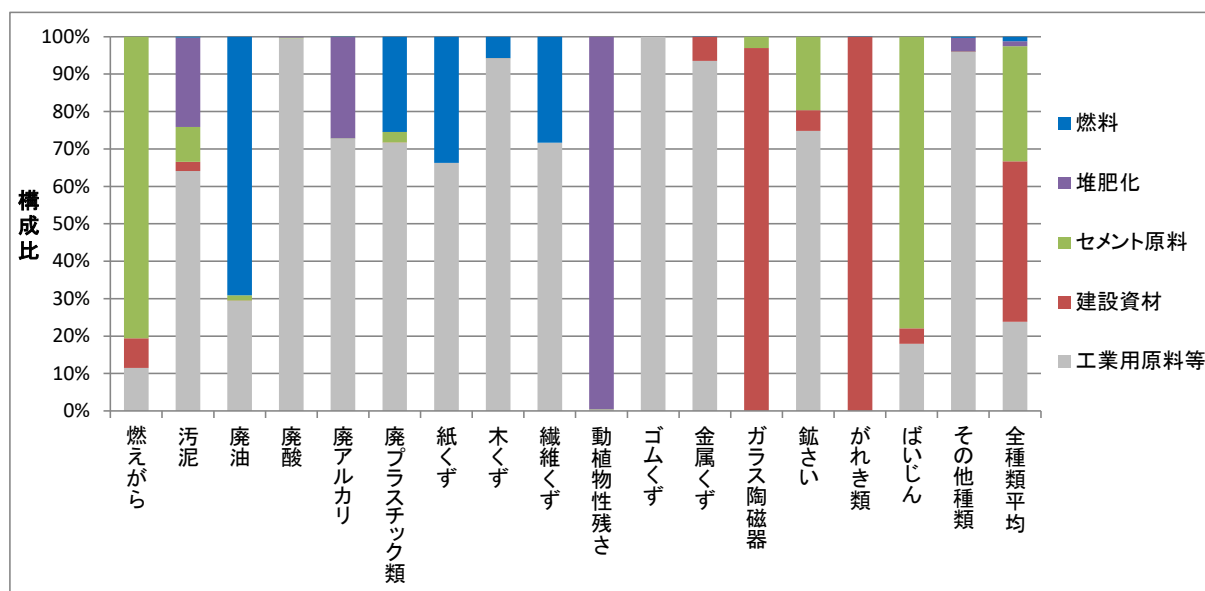


図 5-2 産業廃棄物の資源化の状況

表 5-2 種類別及び資源化用途別の資源化状況

(千t/年)

種類 \ 用途	工業用 原料等	建設資材	セメント 原料	堆肥化	燃料	計
燃えがら	19	13	130			161
汚泥	90	3	13	34	0	141
廃油	5	0	0		11	16
廃酸	52		0	0		53
廃アルカリ	1		0	0	0	1
廃プラスチック類	69	0	3	0	24	96
紙くず	4				2	6
木くず	293		0	0	18	311
繊維くず	1				0	1
動植物性残さ	0		0	20		20
ゴムくず	0					0
金属くず	38	3			0	41
ガラス陶磁器	0	109	3			112
鉱さい	98	7	26			130
がれき類		1,748			0	1,748
ばいじん	281	65	1,221			1,567
その他種類	131	0	0	5	0	137
計	1,081	1,949	1,397	60	56	4,542

5.2 最終処分状況

1 最終処分量

種類別及び業種別の産業廃棄物の最終処分量は、表 5-3 及び図 5-3 のとおりである。

種類別（処分時点の種類）にみると、ばいじんが 135 千トン（26%）と最も多く、以下、燃え殻が 109 千トン（21%）、汚泥が 104 千トン（21%）、ガラス陶磁器くずが 47 千トン（9%）となっている。

業種別にみると、電気・ガス・水道業が 246 千トン（48%）と最も多く、以下、建設業が 116 千トン（23%）、製造業が 109 千トン（21%）等となっている。

表 5-3 産業廃棄物の種類別、業種別の最終処分量

(単位：千t/年)

業種 処分 時点の種類	合計	鉱業	建設業	製造業	電気・ガ ス・水道 業	運輸・郵 便業	卸・小売 業	医療・福 祉業	サービ ス業	その他 の業種
合計	509 (100%)	0 (0%)	116 (23%)	109 (21%)	246 (48%)	0 (0%)	1 (0%)	2 (0%)	25 (5%)	10 (2%)
燃え殻	109 (21%)		3	5	94	0	0	1	5	1
汚泥	104 (21%)		16	57	16	0	0	0	6	8
廃油										
廃酸										
廃アルカリ										
廃プラスチック類	34 (7%)	0	16	12	0	0	0	0	5	0
紙くず	1 (0%)		1	0						
木くず	4 (1%)		4	0					0	0
繊維くず	0 (0%)		0							
動植物性残さ	0 (0%)			0						
動物系固形不要物										
ゴムくず	0 (0%)			0					0	
金属くず	1 (0%)		0	0	0	0	0	0	0	0
ガラス陶磁器くず	47 (9%)		21	22	0	0	0	0	3	0
鉱さい	8 (2%)			5	2				0	0
がれき類	42 (8%)		42	0						
ばいじん	135 (26%)		0	0	133				2	0
動物のふん尿										
その他	24 (5%)	0	13	7	0	0	0	0	4	0

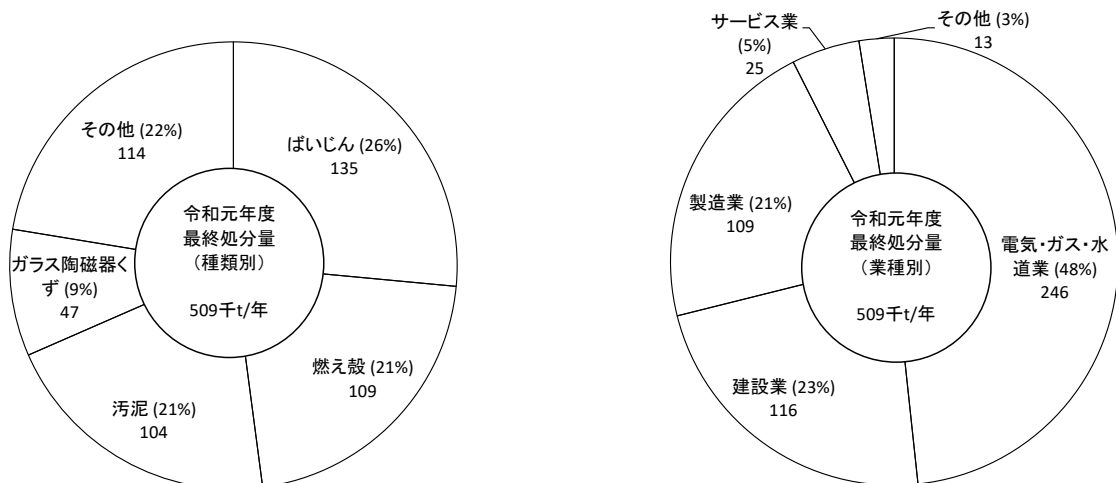


図 5-3 産業廃棄物の種類別、業種別の最終処分量

2 最終処分場残余年数の推計

県内の産業廃棄物処理業者から報告のあった最終処分場の残余容量と処分実績量の関係から、令和2年3月31日時点の最終処分場の残余年数を推計した結果は、以下のとおりである。

なお、残余年数の推計においては、自社処分場及び特定の事業場から排出された産業廃棄物のみを受け入れている最終処分場は除外した。

(1) 最終処分場の稼働状況

令和2年3月31日時点における最終処分場の稼働状況は、表5-4のとおりである。

最終処分場の残余容量がある施設は19施設であり、管理型が8施設、安定型が11施設となっている。

これらの残余容量は、3,772千m³となっており、管理型が2,316千m³、安定型が1,456千m³となっている。

表 5-4 最終処分場の稼働状況（令和2年3月31日時点）

	計	県北地区	県中地区	県南地区	会津地区	南会津地区	相双地区	福島市	郡山市	いわき市
施設数 計	19	2	2		1		1	4	1	8
管理型	8	1	1		1			2	1	2
安定型	11	1	1				1	2		6
残余容量 計(千m ³)	3,772.1	23.1	207.0		329.3		31.3	1,356.2	14.4	1,810.8
管理型	2,316.2	21.5	26.3		329.3			1,217.2	14.4	707.3
安定型	1,456.0	1.5	180.7				31.3	138.9		1,103.5

(2) 最終処分場の残余年数の推計

令和2年3月31日時点の残余容量と当該最終処分場の令和元年度処分実績量は図5-4のとおりである。各最終処分場の許可上の容量から算出される、令和2年3月31日現在の残余容量を用いて計算した。

既存の最終処分場での令和元年度処分実績量と同等量が今後も最終処分されるものと仮定し残余年数を推計すると、管理型で12.0年、安定型で11.0年となっている。

なお、ここでの埋立廃棄物の比重は、1t/m³と設定している。

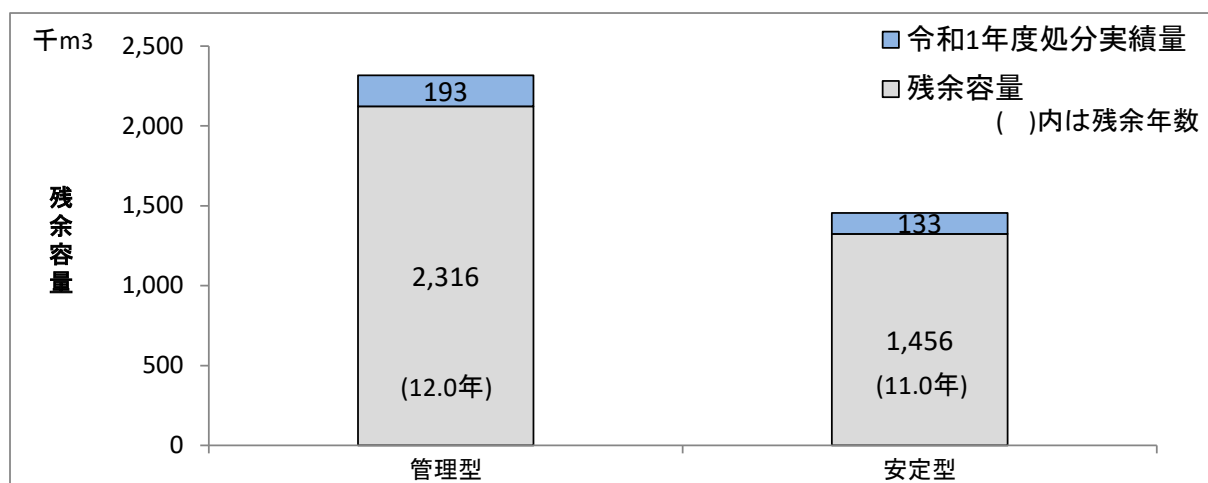
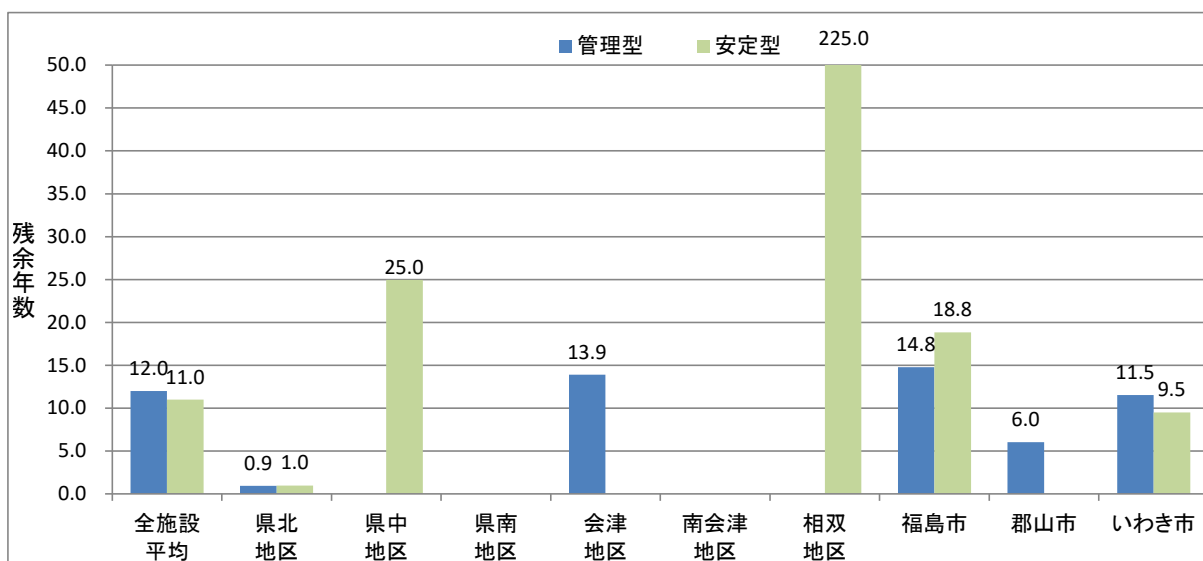


図 5-4 最終処分場の残余年数の推計 (実績量基準)

また、地区別の残余年数をみると図 5-5 のとおりである。残余年数は地区ごとに偏りがみられる。



※県中地区は、管理型最終処分場はあるが令和元年度に最終処分されていないため残余年数は示していない。

図 5-5 地区別の最終処分場の残余年数の推定（令和元年度の最終処分実績を基準）

福島県廃棄物処理計画（平成 27 年 3 月）では、平成 24 年度の最終処分率 12%を令和 2 年度に 8%以下とする削減目標を設定している。

令和元年度の最終処分率は 7%と目標を達成しており、令和元年度以降の最終処分量が令和元年度と同等量で推移すると仮定すると、既存の最終処分場の残余年数は前述のとおり管理型で 12.0 年、安定型で 11.0 年と推計される。

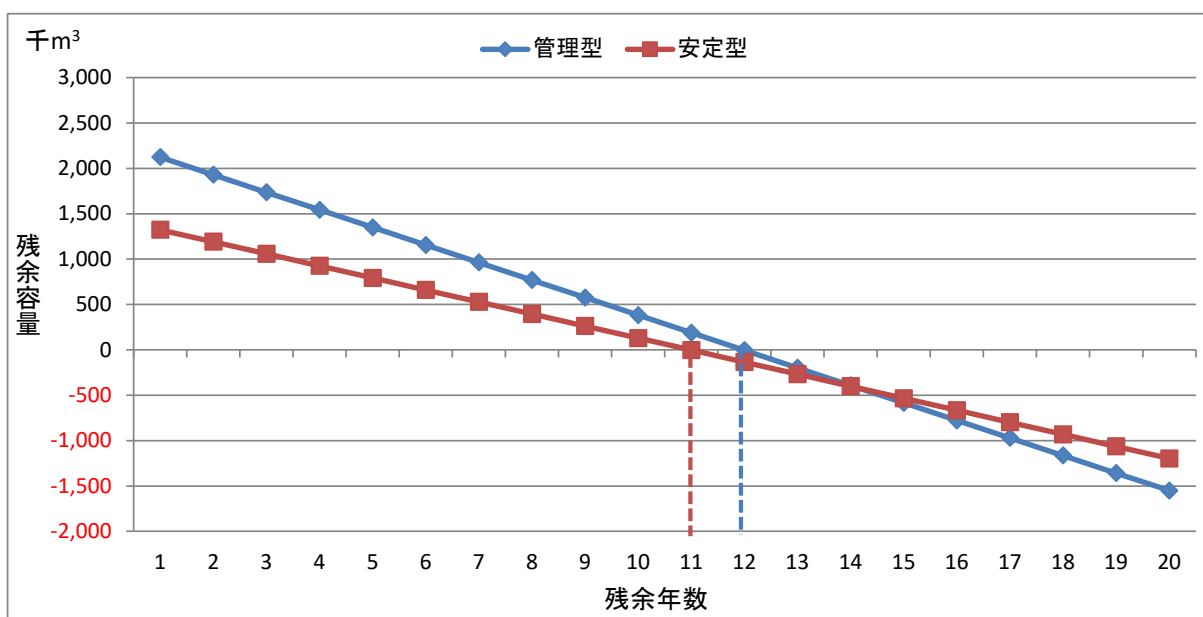


図 5-6 最終処分場の残余年数の推計

第6章 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の解析

産業廃棄物管理交付等状況報告(廃棄物処理法第12条の3第7項)について、解析を行った結果は、以下のとおりである。

6.1 データ整備等の内容

1 電子データベース化

産業廃棄物管理票交付等状況報告書について、以下の電子データベース化を行った。

なお、電子マニフェスト登録等状況報告書のデータについても、共通項目のレイアウトに変更し、情報を統合した。

<台帳> ①報告者氏名 ②事業場の名称 ③事業場の所在地 ④業種コード	
<廃棄物データ> ⑤行番号 ⑥産業廃棄物の種類コード ⑦排出量 ⑧管理票の交付枚数 ⑨運搬受託者の許可番号 ⑩運搬受託者の氏名又は名称 ⑪運搬先のコード ⑫処分受託者の許可番号 ⑬処分コード ⑭処分受託者の氏名又は名称 ⑮処分場所のコード	

2 各種のデータ整備

6.1.1 で作成した統合データに対して、区間委託の制御、単位、種類コード、地域コード等の確認、整備を行った。

3 報告者及び事業場の整理

本解析においては、報告者台帳作成に当たって同一事業場等のマッチング作業を行うために、3つの項目から報告者を識別するコード(ID)化を行った。

本報告書で用いた用語		報告者及び事業場の整理
報告書件数		受理した報告書の件数。ただし、電子マニフェスト登録等状況報告書に基づく報告書については、電子マニフェスト交付単位(1件)で電子化されているため、報告者名称、種類、事業場名称、事業場住所が同一のものは1報告書として集計した。
報告者	報告企業(ID1)	報告者名称から「本店、支店、営業所」等の名称を除外し、マッチングしたもの。なお、(株)、(有)等の名称は除外しマッチングした。
	報告事業者(ID2)	ID1を更に、「本店、支店、営業所」等の名称、「報告者の住所(市町村)」でマッチングしたもの
	報告事業場(ID3)	ID2を更に、事業場名称、「事業場の住所(市町村)」でマッチングしたもの

6.2 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の報告状況

1 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の報告状況

産業廃棄物管理票交付等状況報告書の報告状況は、表 6-1、表 6-2 のとおりである。

令和元年度実績として福島県(福島市、郡山市、いわき市を含む)に報告された産業廃棄物管理票交付状況報告書に基づく報告件数は 7,721、産業廃棄物管理票交付枚数(以下、「交付枚数」という)は 433,307 枚、排出量は 2,139 千トンとなっている。また、電子マニフェスト登録等状況報告書に基づく報告件数は 11,326 件、交付枚数 351,656 枚、排出量は 2,838 千トンとなっており、両者のあわせた(以下、「産業廃棄物管理票交付等状況報告書」という)報告件数が 19,047 件、交付枚数が 784,963 枚、排出量が 4,977 千トンとなっている。

また、本解析にて整理した報告者及び事業場数では、報告企業数(ID1)が 7,661 件、報告事業者数(ID2)が 7,961 件、報告事業場数が 18,661 件であった。(表 6-1)

電子マニフェスト登録等状況報告書に基づく交付枚数は増加している。(表 6-2)

表 6-1 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の報告状況

		報告書件数	報告企業数 (ID1)	報告事業者数 (ID2)	報告事業場数 (ID3)	産業廃棄物 管理票 交付枚数	排出量 (t)
県 所 管	産業廃棄物管理票交付状況報告書	3,802	2,061	2,179	3,785	228,914	1,408,915
	電子マニフェスト登録等状況報告書 (3市除く)	4,842	1,312	1,373	4,696	174,994	1,903,163
		8,644	3,373	3,552	8,481	403,908	3,312,078
福 島 市	産業廃棄物管理票交付状況報告書	1,129	719	730	1,111	54,238	140,964
	電子マニフェスト登録等状況報告書	1,917	615	635	1,866	47,368	130,965
		3,046	1,334	1,365	2,977	101,606	271,929
郡 山 市	産業廃棄物管理票交付状況報告書	1,345	869	889	1,323	68,130	153,733
	電子マニフェスト登録等状況報告書	2,299	661	685	2,254	49,116	116,357
		3,644	1,530	1,574	3,577	117,246	270,090
い わ き 市	産業廃棄物管理票交付状況報告書	1,445	836	862	1,421	82,025	435,724
	電子マニフェスト登録等状況報告書	2,268	588	608	2,205	80,178	687,473
		3,713	1,424	1,470	3,626	162,203	1,123,197
合 計	産業廃棄物管理票交付状況報告書	7,721	4,485	4,660	7,640	433,307	2,139,335
	電子マニフェスト登録等状況報告書	11,326	3,176	3,301	11,021	351,656	2,837,958
		19,047	7,661	7,961	18,661	784,963	4,977,293

表 6-2 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の報告状況の推移

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
交 付 枚 数	産業廃棄物管理票交付状況報告書	473,438	464,617	475,200	472,002	441,769	433,307
	電子マニフェスト登録等状況報告書	184,102	222,392	235,216	261,585	298,246	351,656
	計	657,540	687,009	710,416	733,587	740,015	784,963
排 出 量 (千t)	産業廃棄物管理票交付状況報告書	3,488	2,233	2,265	2,381	2,140	2,139
	電子マニフェスト登録等状況報告書	1,719	2,202	2,128	2,313	2,587	2,838
	計	5,207	4,435	4,393	4,694	4,727	4,977

2 産業廃棄物管理票交付等状況報告書に基づく排出状況

種類別の産業廃棄物管理票交付等状況報告書に基づく排出量及び交付枚数は、表 6-3、表 6-4 のとおりである。

産業廃棄物の種類別に排出量をみると、ばいじんが 2,190 千トンで最も多く、以下、がれき類が 1,243 千トン、汚泥が 338 千トン、燃え殻が 246 千トン等となっている。(表 6-3)

業種別にみると、電気・ガス・水道業が 2,398 千トンで最も多く、以下、建設業が 1,516 千トン、製造業 685 千トン等となっている。(表 6-4)

なお、産業廃棄物管理票交付等状況報告書データには、電気業から排出されるばいじんのうち、自社処分場へ運搬された運搬実績及び船積貯槽へ運搬された運搬実績が含まれている。

また、県内の中間処理業者における中間処理後の残さ物の他社への委託処理（2次マニフェスト）による交付分が含まれている。

表 6-3 種類別産業廃棄物管理票交付等状況報告書に基づく排出量及び交付枚数

	排出量(千t)					交付枚数				
	計	県所管	福島市	郡山市	いわき市	計	県所管	福島市	郡山市	いわき市
計	4,977	3,312	272	270	1,123	784,963	403,908	101,606	117,246	162,203
燃え殻	246	186	0	8	52	11,050	7,364	58	1,036	2,592
汚泥	338	123	8	71	136	45,105	20,711	2,511	9,946	11,937
廃油	34	17	1	3	12	43,194	20,332	5,778	8,089	8,995
廃酸	28	9	0	2	16	4,702	2,607	391	845	859
廃アルカリ	40	27	1	3	8	7,981	4,777	713	1,163	1,328
廃プラスチック類	166	103	17	22	24	161,311	79,000	24,457	28,182	29,672
紙くず	6	3	1	1	1	11,227	5,506	1,758	2,318	1,645
木くず	242	161	22	14	44	82,709	46,737	8,296	9,413	18,263
繊維くず	4	3	0	0	0	2,392	1,198	288	355	551
動植物性残さ	14	7	1	5	0	6,646	2,748	718	2,953	227
動植物系固形不要物	0			0		51			51	
ゴムくず	0	0	0	0	0	106	66	3	6	31
金属くず	29	16	3	6	4	23,764	10,184	3,046	6,283	4,251
ガラス・陶磁器くず	148	58	20	13	57	50,558	20,222	9,482	8,035	12,819
鉱さい	174	129	17	3	25	14,155	10,945	1,049	226	1,935
がれき類	1,243	718	163	111	252	213,600	122,108	27,758	24,265	39,469
動物のふん尿	2	2				650	650			
動物の死体	0	0	0	0	0	81	61	4	4	12
ばいじん	2,190	1,712	0	0	478	32,237	18,336	54	51	13,796
コンクリート固化物	0	0				4	4			
その他	74	38	15	8	13	73,440	30,352	15,242	14,025	13,821
感染性廃棄物	5	2	1	1	1	29,300	11,393	7,528	6,172	4,207
混合廃棄物等	69	36	14	7	12	44,140	18,959	7,714	7,853	9,614

表 6-4 業種別産業廃棄物管理票交付等状況報告書に基づく排出量及び交付枚数

	排出量(千t)					交付枚数				
	計	県所管	福島市	郡山市	いわき市	計	県所管	福島市	郡山市	いわき市
計	4,977	3,312	272	270	1,123	784,963	403,908	101,606	117,246	162,203
農業・林業	4	2	0	2	1	1,175	743	4	314	114
漁業										
鉱業	6	5	1	0	0	1,534	678	764	83	9
建設業	1,516	858	180	163	315	370,498	202,891	46,244	50,708	70,655
製造業	685	350	38	37	260	136,269	72,848	11,403	15,625	36,393
電気・ガス・水道業	2,398	1,889	2	2	505	42,897	26,641	441	450	15,365
情報通信業	4	2	1	1	1	1,969	692	545	364	368
運輸・郵便業	8	4	0	1	2	6,166	2,705	469	2,083	909
卸・小売業	28	13	4	6	5	78,689	35,052	13,327	12,965	17,345
金融・保険業	0	0	0	0	0	187	37	71	49	30
不動産業・物品賃貸業	7	2	1	2	1	7,838	1,987	1,607	1,945	2,299
専門サービス業	1	0	0	0	0	1,614	576	482	281	275
宿泊業・飲食サービス業	4	1	0	2	0	9,695	3,746	1,807	2,728	1,414
生活関連サービス業	1	1	0	0	0	717	525	23	105	64
教育・学習支援業	0	0	0	0	0	534	68	157	140	169
医療・福祉業	11	5	3	1	1	58,897	22,975	15,196	12,186	8,540
複合サービス業	0	0	0	0	0	908	293	469	58	88
サービス業	257	165	40	22	31	59,078	29,173	8,407	13,828	7,670
公務	46	15	0	31	0	6,173	2,219	189	3,269	496
その他	0	0	0	0		125	59	1	65	

6.3 産業廃棄物管理票交付等状況報告対象者リストの作成

産業廃棄物の処分業者、収集運搬業者の令和元年度実績データから、委託者（排出事業者）を整理し、以下のとおり「産業廃棄物管理交付等状況報告」（廃棄物処理法第12条の3第6項）の対象となる事業者の台帳を作成した。

また、産業廃棄物管理交付等状況報告書で作成した台帳同様(6.1)に、3つの項目から排出者を識別するコード(ID)化を行った。

表 6-5 排出者及び事業場の整理方法

本報告書で用いた用語		排出者及び事業場の整理
排出者	排出企業(IDa)	委託者名称から「本店、支店、営業所」等の名称を除外し、マッチングしたもの。なお、(株)、(有)等の名称は除外しマッチングした。また、福島市、郡山市、いわき市は、単独で整理した。
	排出事業者(IDb)	IDaを更に、「本店、支店、営業所」等の名称でマッチングしたもの
	排出事業場(IDc)	IDbを更に、「委託者の住所(市町村)」でマッチングしたもの

このマッチングの作業により、産業廃棄物管理票交付等状況報告対象者数は40,465件であり地域別の対象者数は、表6-6のとおりである。なお、このうち産業廃棄物の処分業者及び収集運搬実績データにおいて、詳細な住所が記載されていないものが231件あった。

表 6-6 産業廃棄物の処分業者・収集運搬実績から整理した産業廃棄物管理票交付等状況報告対象者数

	排出企業数 (IDa)	排出事業者数 (IDb)	排出事業場数 (IDc)
県所管	14,072	16,811	22,225
県北地区			4,398
県中地区			4,855
県南地区			3,684
会津地区			4,976
南会津地区			602
相双地区			3,479
詳細不明			231
福島市	4,226	4,909	4,909
郡山市	5,937	7,393	7,393
いわき市	5,416	5,938	5,938
合計	29,651	35,051	40,465

*1:IDa、IDb は、事業場住所を考慮しないため地区別の内訳は非表示とした。

*2:福島市、郡山市、いわき市は IDa の整理時点で同市を分離しているため、IDb と IDc は同数となる。

作成した産業廃棄物管理票交付等状況報告対象者は、別添の CD-ROM に格納した。なお、この報告対象者リストのイメージは、表 6-7 のとおりであり、対象者の地区、市町村コード、名称で構成される。

表 6-7 産業廃棄物管理票交付等状況報告対象者リストのイメージ

(IDa)	(IDb)	(IDc)	地区	市町村CD	排出事業場名称
500001	01	001	T1:県北	071111	〇〇〇〇(株)〇〇工場
500001	02	001	T1:県北	071111	〇〇〇〇(株)△△工場

参考データ

統計表1 業種別・種類別の排出量〔令和元年度〕

(単位：千t/年)

業種	種類	合計	燃え殻	汚泥	廃油	腐蝕	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性 残さ	動物系固 形不燃物	コムくず	金属くず	ガラス類 磁器くず	腐さい	がれき類	ばいじん	13号廃棄 物	動物のふ ん尿	動物の死 体	その他	燃発性廃 棄物	混合廃棄 物	その他
合計		7,722	249	3,133	44	18	100	179	9	266	1	17		0	40	188	144	1,694	1,592		5	1	43	5	36	2
農業	林業	10	3	0	0	0	0	0	1					0	0	1					5				0	0
	農産物	9	3	0	0	0	0	0	1					0	0	0					5				0	0
	林業	1		0	0	0		0						0	0	1									0	0
漁業																										
鉱業	採石業	138		138																						
建設業		2,195	2	98	2	0	1	49	5	262	1			15	46	0	1,694	0					20	0	20	0
製造業	計	2,539	6	2,019	31	14	93	87	3	4		17		8	113	120	0	18				7	0	7	0	
	食品	38	0	21	0	0	0	1	0	0	0	14		0	0	0										0
	飲料・調味料	7	0	4	0	0	0	0	0	0	0	2		0	0	0										0
	繊維	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0										0
	木材	4	0	0	0	0	0	0	0	2				0	0	2										0
	家具	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0										0
	パルプ・紙	1,404	4	1,323	0	0	0	48	3	0	0			0	0	1	1	17					6	0	6	0
	印刷	10	0	0	0	0	0	8	1	0	0			0	0	0		0					0	0	0	0
	化学	630	0	562	21	5	38	2	0		0			0	0	1		0					0	0	0	0
	石油・石炭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0										0
	プラスチック	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0										0
	ゴム	8	0	0	0	0	0	7						0	0	0										0
	皮革	112	0	17	1	0	0	0	0	1				0	0	91	1	0	0							0
	窯業・土石	22	0	1	0	0	0	1	0	0	0			0	0	8	11		0							0
	鉄鋼	57	1	50	0	0	3	0	0	0	0			0	0	0	0	0	0							0
	非鉄金属	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0			0	0	0	1									0
	金属	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0										0
	はん用機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0										0
	生糸用機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0										0
	産業用機器	5	0	0	0	0	0	4	0	0	0			0	0	0										0
	電子部品	27	10	1	2	14	0	0	0	0	0			0	0	0	0									0
	電気機器	35	20	0	4	10	1	0	0	0	0			0	0	0		0								0
	情報通信機器	19	0	0	0	19	0	0	0	0	0			0	0	0										0
	輸送用機器	115	0	4	2	0	1	1	1	0	0			5	5	102			0							0
	その他製造業	42	1	4	4	1	2	15	0	0	1			0	1	10	3		1							0
電気・ガス・水道業		2,678	239	837	0	0	0	0	0	0	0			0	0	7	22	1,572	1,571				1	0	0	1
ガス業		1,853	238	12	0	0	0	0	0	0	0			0	0	7	22	1,571	1,571				1	0	0	1
熱供給業																										
上下水道業		69		69	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0										0
工業用水道業																										
下水処理業		756	0	755	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0										0
情報通信業		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0										0
運輸業・郵便業		8	0	1	1	0	0	1	0	0	0			0	0	4	0									0
卸売業・小売業		12	1	0	0	0	0	5	0	0	0			4	1	0										0
金融業・保険業		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0										0
不動産業・賃貸業		2	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	2										0
専門サービス業		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0										0
宿泊業・飲食業		1	1	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0										0
生活サービス業		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0										0
教育・学習支援業		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0										0
医療・福祉業		8	1	0	0	0	0	1	0	0	0			0	0	1										0
複合サービス業		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0										0
サービス業		115	2	25	10	4	6	32	1	1	0			0	11	10	2		2							8
公務		13	0	9	0	0	0	1	0	0	0			1	2	0										0

統計表2 排出量及び処理量(種類別)[令和元年度](その1)

区分 種類	自己中間処理量											自己未処理量				搬出量		自己最終処分量					
	発生量			有償物量			排出量			自己中間処理後量			再生利用			自己未処理の処理内訳		(自己未処理の処理内訳)		(自己未処理の処理内訳)			
	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	(I)	(J)	(K)	(L)	(M)	(N)	(O)	(P)	(Q)	(R)	(S)	(T)	(U)		
	(B-ZI+C)	(Z1)	(D+G)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	(I)	(J)	(K)	(L)	(M)	(N)	(O)	(P)	(Q)	(R)	(S)	(T)	(U)	(V)	(W)
合計	7,965	242	0	7,722	3,150	95	2,693	329	179	48	101		4,572	38	118	4,416	4,683	166	166				
燃え殻	266	17		249	1	1		0					248		48	200	248	48	48				
汚泥	3,274	140		3,133	2,923	22	2,693	209	71	48	91		210	27	0	183	321	48	48				
廃油	46	2		44	2	2							42	0		42	42						
廃酸	19	1		18	4	2		0					14	0		14	14						
廃アルカリ	100	0		100	53	17		1	0				48	0		48	49						
廃プラスチック類	182	3		179	55	51		7	5	1			124		0	124	125	0	0				
紙くず	11	2		9	2	1		1	1				7	2		5	5						
木くず	266	0		266	17	1		16	14	2			250			250	252						
繊維くず	1			1	0	0		0	0	0			1	1		1	1						
動植物性残さ	17			17									17			17	17						
動物系固形不要物																							
ゴムくず	0			0									0	0		0	0						
金属くず	48	9		40	1			1	1				38	5	0	34	34	0	0				
ガラス陶磁器くず	188			188	8	0		7	7	1			180	5	6	170	176	6	6				
鋳さい	150	6		144	22			22	17				123			123	128						
がれき類	1,695	1		1,694	63			63	63	0			1,630		2	1,628	1,630	2	2				
ばいじん	1,652	61		1,592	0			0	0	0			1,592		61	1,531	1,592	61	61				
13号廃棄物																							
動物のふん尿	5			5									5			5	5						
動物の死体	1			1									1			1	1						
その他	43	0		43	1	0		1	0	0			42		0	42	43	0	0				
感染性廃棄物	5			5	0	0		0	0				5			5	5						
混合廃棄物	38	0		38	1			1	0	0			38		0	38	38	0	0				

(単位:千t/年)

統計表2 排出量及び処理量(種類別)[令和元年度](その2)

区 分	委託処理量 (K) (O-L)	委託中間処理量										再生利用量		最終処分量		(単位:千/年)
		(O)		(L)		(処理先地域の内訳)		委託中間処理後量		(R) (E+G+M1)	(Q) (H+O+M2)	(Q1)	(Q3)			
		県内	県外	域内	域外	うち焼却量	うち焼却量	(M)	(委託処理後の処理内訳)							
		(O)	(L)	うち焼却量	域外	保管量 (Z3)	再生利用量 (M1)	最終処分量 (M2)	事業者	処理業者						
合計	4,518	241	236	5	4,277	2,491	148	1,786	1,335	4,070	3,967	103	4,185	509	166	343
燃え殻	200	48	48		152	72	61	80	77	152	152	1	152	96	48	48
汚泥	273	48	46	3	225	126	17	98	30	140	127	13	225	110	48	61
廃油	42				42	16	11	26	15	16	15	1	15	1		1
廃酸	14				14	4	2	10	1	3	3	0	3	0		0
廃アルカリ	49				49	14	12	35	8	2	1	1	1	1		1
廃プラスチック類	125	13	11	2	112	73	13	39	6	97	75	22	80	36	0	35
紙くず	5	0	0		5	4	1	1	0	5	4	1	7	1		1
木くず	252				252	225	11	27	3	238	233	5	246	5		5
繊維くず	1				1	1	1	0	0	1	1	0	1	0		0
動植物性残さ	17	0	0		16	14	1	2	0	16	16	0	16	0		0
動物系固形不要物																
ゴムくず	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
金属くず	34	0	0		33	29	1	4	0	33	32	1	38	1	0	1
ガラス陶磁器くず	170	22	22	0	148	130	0	17	3	148	129	18	141	47	6	41
鉱さい	128	7	7		121	35	7	86	56	121	120	1	137	8		8
がれき類	1,628	23	23	0	1,605	1,581	0	24	0	1,605	1,588	17	1,652	42	2	40
ばいじん	1,531	74	74		1,457	131	0	1,326	1,136	1,457	1,457	0	1,457	135	61	74
13号廃棄物																
動物のふん尿	5				5	5				5	5		5			
動物の死体	1				1	0	0	1	0	1	1	0	1	0		0
その他	43	5	5	0	38	30	9	8	1	30	9	21	9	26	0	26
感染性廃棄物	5				5	4	4	0	0	1	0	1	0	1		1
混合廃棄物	38	5	5	0	33	26	4	7	1	30	9	21	9	25	0	25

統計表3 排出量及び処理量(業種別)[令和元年度](その1) (単位:千t/年)

業種	発生量		保有量		排出量		自己中間処理量				自己中間処理後量				自己未処理量				搬出量		自己最終処分量		
	(A) (B+Z1+C)	(B)	(Z1)	(C) (D+G)	(D)	(E)	うち焼却 量		(E1)	(E2)	(E3)	自己最終 処分量		(G)	(G1)	(G2)	(G3)	(H (I+K+J))	(I) (E2+G2)	(処理先地域の内訳) 県内 県外			
							(T1)	(T2)				(E1)	(E2)									(E3)	(Z2)
合計	7,965	242	0	7,722	3,150	95	2,693	329	179	48	101	4572	38	118	4,416	4,683	166	166					
農業・林業	10			10								10			10								
漁業																							
鉱業	138			138	138	68		70	70	0		0			0								
建設業	2,195	0		2,195	82	1		82	79	3		2,113	0	3	2,110	2,116	3	3	3	3			
製造業	2,561	22	0	2,539	2,115	76	1,883	122	27	48	48	425	38	6	380	482	54	54	54	54			
電気・ガス・水道業	2,897	219		2,678	811	19	742	51	0	0	50	1,867	0	105	1,762	1,918	106	106	106	106			
情報通信業	2	1		0								0			0								
運輸・郵便業	8			8								8			8	8	0	0	0	0			
卸・小売業	12			12								12			12	12							
金融・保険業	1			1								1			1	1							
不動産業・物品賃貸業	2			2								2			2	2							
学術研究・技術サービス業	0			0								0			0	0							
宿泊業・飲食サービス業	1			1								1			1	1	1	0	0	0			
生活関連サービス業	0			0								0			0	0							
教育・学習支援業	1			1								1			1	1							
医療・福祉業	8			8	0	0		0		0	0	8			8	8							
複合サービス業	0			0								0			0	0							
サービス業	115			115	4			4	3	0		111		3	108	112	3	3	3	3			
公務	13			13								13			13	13							

統計表3 排出量及び処理量(業種別)[令和元年度](その2) (単位:千t/年)

業種	区分委託処理量		委託処理量の内訳				委託中間処理量				委託中間処理後量				再生利用量		最終処分量		(処理主体の内訳)	
	(K) (O+L)	(O)	(処理先地域の内訳)		(L)	(処理先地域の内訳)		(M)	(委託処理後の処理内訳)		(R) (E+G+M1)	(Q) (H+O+M2)	(Q1)	(Q3)	事業者	処理業者				
			県内	県外		県内	県外		再生利用量 (M1)	最終処分量 (M2)										
			うち焼却量	うち焼却量		保管量 (Z3)														
合計	4,518	241	236	5	4,277	2,491	148	1,786	1,335	4,070	3,967	103	4,185	509	166	343				
農業・林業	10	0	0		10	7	0	3	3	7	6	1	6	1		1				
漁業																				
鉱業	0				0	0	0			0	0	0	70	0		0				
建設業	2,113	53	51	2	2,060	1,981	19	80	4	2,006	1,946	61	2,024	116	3	113				
製造業	428	32	30	3	396	174	38	222	84	307	284	23	350	109	54	55				
電気・ガス・水道業	1,812	138	138		1,675	242	70	1,433	1,234	1,652	1,649	3	1,649	246	106	140				
情報通信業	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0				
運輸・郵便業	8	0	0		7	6	0	2	0	7	6	0	6	0		0				
卸・小売業	12	0	0		12	7	0	4	0	11	11	0	11	1		1				
金融・保険業	1	0	0		1	1	0	0	0	1	1	0	1	0		0				
不動産業・物品賃貸業	2	0	0		2	2	0	0	0	2	2	0	2	0		0				
学術研究・技術サービス業	0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0				
宿泊業・飲食サービス業	1	0	0		1	1	0	0	0	1	1	0	1	0		0				
生活関連サービス業	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0				
教育・学習支援業	1	0	0		1	1	0	0	0	1	0	0	0	0		0				
医療・福祉業	8	0	0		8	8	5	1	0	3	2	2	2	2		2				
複合サービス業	0				0	0		0	0	0	0	0	0	0		0				
サービス業	108	10	10	0	99	60	14	39	7	68	56	12	60	25	3	22				
公務	13	8	8		5	3	1	2	1	4	3	1	3	9		9				

統計表4 排出量及び処理量等の経年推移

1. 排出量 (単位:千t/年)

	H22年度 (2010)	H23年度 (2011)	H24年度 (2012)	H25年度 (2013)	H26年度 (2014)	H27年度 (2015)	H28年度 (2016)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R元年度 (2019)
合計	7,994	7,454	8,052	8,490	8,321	7,936	7,332	7,844	7,822	7,722
汚泥	4,477	3,797	3,637	3,451	3,648	3,605	3,313	3,496	3,401	3,133
がれき類	1,268	2,034	2,305	2,135	1,906	1,853	1,675	1,720	1,579	1,694
ばいじん	1,313	429	1,018	1,696	1,550	1,534	1,403	1,536	1,600	1,592
その他	936	1,195	1,092	1,208	1,217	944	941	1,092	1,242	1,304

2. 再生利用量(再生利用時点の種類) (単位:千t/年)

	H22年度 (2010)	H23年度 (2011)	H24年度 (2012)	H25年度 (2013)	H26年度 (2014)	H27年度 (2015)	H28年度 (2016)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R元年度 (2019)
合計	3,155	3,428	3,673	4,343	4,153	3,889	3,677	3,956	3,974	4,185
がれき類	1,237	1,993	2,233	2,070	1,847	1,803	1,635	1,672	1,536	1,652
ばいじん	881	213	411	1,128	1,213	1,282	1,242	1,355	1,390	1,457
燃え殻	317	140	438	107	158	165	184	219	255	238
その他	720	1,083	592	1,038	935	640	617	710	792	838

3. 再生利用率 (単位:%)

	H22年度 (2010)	H23年度 (2011)	H24年度 (2012)	H25年度 (2013)	H26年度 (2014)	H27年度 (2015)	H28年度 (2016)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R元年度 (2019)
合計	39	46	46	51	50	49	50	50	51	54
がれき類	98	98	97	97	97	97	98	97	97	98
ばいじん	67	49	40	67	78	84	89	88	87	92
燃え殻	60	56	66	52	76	65	68	65	71	61
その他	14	22	13	23	20	14	17	19	20	22

4. 最終処分量(処分時点の種類) (単位:千t/年)

	H22年度 (2010)	H23年度 (2011)	H24年度 (2012)	H25年度 (2013)	H26年度 (2014)	H27年度 (2015)	H28年度 (2016)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R元年度 (2019)
合計	726	523	962	838	682	570	471	544	572	509
ばいじん	431	216	607	506	338	252	161	181	209	135
汚泥	122	116	145	117	140	138	134	147	129	104
燃え殻	73	70	76	77	51	53	58	70	72	109
その他	100	121	134	137	153	127	118	146	162	161

5. 最終処分率 (単位:%)

	H22年度 (2010)	H23年度 (2011)	H24年度 (2012)	H25年度 (2013)	H26年度 (2014)	H27年度 (2015)	H28年度 (2016)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R元年度 (2019)
合計	9	7	12	10	8	7	6	7	7	7
ばいじん	33	50	60	30	22	16	11	12	13	8
汚泥	3	3	4	4	4	4	4	4	4	3
燃え殻	40	43	34	47	23	34	31	34	29	39
その他	5	4	4	4	5	5	5	6	7	6